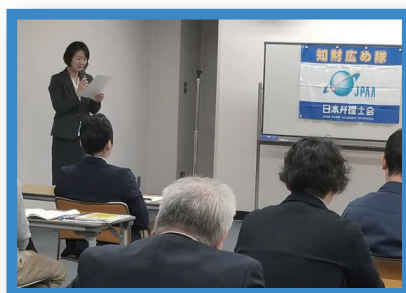


知財広め隊活動報告書

2017-2018



CONTENTS

■「知財広め隊活動報告に際してのご挨拶」

| | |
|----------------------|---|
| 日本弁理士会会長 渡邊 敬介 | 1 |
|----------------------|---|

■「知財広め隊活動の終了にあたって」

| | |
|---------------------------------|---|
| 日本弁理士会 副会長（平成29年度） 瀧野 文雄 | 2 |
| 日本弁理士会 副会長（平成30年度） 辻田 幸史 | 2 |
| 日本弁理士会 執行理事（平成29年度） 坂本 智弘 | 2 |
| 日本弁理士会 副会長（平成30年度） 坂本 智弘 | 2 |
| 日本弁理士会 執行理事（平成30年度） 高橋 雅和 | 2 |

■「知財広め隊活動報告」

| | |
|-----------------------------------|---|
| 日本弁理士会知財広め隊ワーキンググループ長 小西 富雅 | 3 |
|-----------------------------------|---|

| | |
|-------------------|---|
| ■知財広め隊活動一覧表 | 9 |
|-------------------|---|

■各都道府県活動報告

| | | |
|--------------|--------------|------------------------------|
| 北海道15 | 滋賀県42 | 知財のミカタ 巡回特許庁 併催セミナー |
| 青森県16 | 京都府43 | 巡回特許庁 in 北海道68 |
| 岩手県17 | 大阪府44 | 巡回特許庁 in 東北69 |
| 宮城県18 | 兵庫県45 | 巡回特許庁 in 福井70 |
| 秋田県19 | 奈良県46 | 巡回特許庁 in 浜松71 |
| 山形県20 | 和歌山県47 | 巡回特許庁 in 中部72 |
| 福島県21 | 鳥取県48 | 巡回特許庁 in K A N S A I73 |
| 新潟県23 | 島根県49 | 巡回特許庁 in 山口74 |
| 富山県24 | 岡山県51 | 巡回特許庁 in 四国75 |
| 石川県25 | 広島県52 | 巡回特許庁 in 九州76 |
| 福井県26 | 山口県53 | 巡回特許庁 in 那覇77 |
| 茨城県27 | 徳島県54 | |
| 栃木県28 | 香川県55 | |
| 群馬県29 | 愛媛県56 | |
| 埼玉県30 | 高知県57 | |
| 千葉県31 | 福岡県58 | |
| 東京都32 | 佐賀県61 | |
| 神奈川県34 | 長崎県62 | |
| 山梨県36 | 熊本県63 | |
| 長野県37 | 大分県64 | |
| 岐阜県38 | 宮崎県65 | |
| 静岡県39 | 鹿児島県66 | |
| 愛知県40 | 沖縄県67 | |
| 三重県41 | | |

知財広め隊活動報告に際してのご挨拶

日本弁理士会会長 渡邊 敬介



我が国の産業に安定した活力を与えるには、全企業の約99.7%を占め、雇用の約70%を担う中小企業を活性化させる必要があります。

一方、中小企業による特許出願は全特許出願のうちの約15%にすぎず、1年間に特許、実用新案、意匠、商標のいずれか1件でも出願するのは数パーセント程度の中小企業にすぎません。これらのことからすると、中小企業の知財にはまだまだ伸び代があると思います。

そこで、中小企業にもっと知財の有用性を知ってもらい、知財を活用して元気になっていただくことを目的に、「知財広め隊」を結成しました。「知財広め隊」は、特に知財ビギナーの中小企業経営者を対象に、知財の有用性を分かりやすく伝えるセミナーと、地元の弁理士との交流会をセットにした催し物で、平成29年度と平成30年度の2年間で100カ所での開催を目標に進めてまいりました。セミナーは、知財に興味を持っていただきやすくするために、できるだけ具体的事例を盛り込んだ説明を心がけると共に、開催地域の産業構造に合った題材を探りながら開催してきました。また、セミナーで知財に興味を持っていただいてもそれだけで終わってしまっては意味がないので、地元の弁理士と顔見知りになっていただいてその後の相談に行く敷居を低くするために交流会をセットにしました。

平成29年度は、7月19日に福島県郡山市で開催した第1回を皮切りに、北は北海道から南は沖縄まで55カ所で開催しました。郡山市での第1回には吉野復興大臣（当時）にもご臨席いただき、当初の目標をはるかに上回る約250名にご参加いただくことができました。

平成30年度は、特許庁が開催する「巡回特許庁」とのコラボが実現し、「巡回特許庁」のイベントの1コマとしても開催させていただきました。また、卒業までに会社を起こすことを目標とした九州大学の「起業部」の学生を対象とした福岡県福岡市での開催や、知的財産高等裁判所の高部所長と特許庁の今村審判部長にご登壇いただいた島根県松江市での開催など、53カ所で実施しました。締め括りの「知財広め隊」は、第1回の開催地である福島県郡山市に帰って平成31年2月8日に開催しました。

この2年間の「知財広め隊」は、108カ所での開催と、47都道府県総ての少なくとも1カ所での開催、総勢5,000人以上のご参加という実績を残すことができました。2年間にわたる「知財広め隊」の開催については、大変多くの方々のご協力を得ました。開催地の経済産業局および特許庁の関係部署の皆様、そして開催地の県庁および市役所の関係部署の皆様には大変お世話になりました。地域によっては日本政策金融公庫、地方銀行、信用金庫、商工会議所、商工会、発明協会、新聞社の皆様にも多大なご協力をいただきました。本稿をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、「知財広め隊」は、「地域知財活性化本部」の下に「知財広め隊WG」を置き、この「知財広め隊WG」と各支部が連携しながら進めてきました。活動の中枢を担ってきた「知財広め隊WG」の皆様、そして各支部の皆様、お疲れ様でした。

今後の「知財広め隊」は活動拠点を希望する各支部に移して継続していく予定です。「知財広め隊」の活動を通して築かれた各支部と各地域の団体、機関、企業の皆様との関係をこれからも大切にし、地域の活性化にお役に立てるよう努力していく所存です。

我が国の産業の発達と共に皆様がますます発展されることを祈念しましてご挨拶とさせていただきます。

知財広め隊活動の終了にあたって

平成 29 年度 日本弁理士会 副会長 瀧野 文雄

平成 29 年度知財広め隊担当副会長を務めました瀧野文雄です。日本弁理士会の重点政策である「中小企業への知財支援と普及活動の強化」を実現するために、従来型の座学形式の知財セミナーの後に、講演会に参加した中小企業経営者及び地元弁理士が交流を図る交流会をセットした「知財広め隊セミナー」を、初年度全国 50 カ所、2 年間で全国 100 カ所で開催することを目標に活動してきました。2 年目の平成 30 年度は、特許庁の巡回特許庁とのコラボレーションも実現し、巡回特許庁の個別セッションの一つとして当該セミナーを開催することもできました。

セミナー開催にあたりまして、特許庁をはじめとする各地の経済産業局、都道府県の関係機関、商工会議所および地元金融機関等の皆様のご支援、ご協力をいただきましたことに対して、深く感謝申し上げます。

今後は、当該セミナーの活動を通じて構築した各地の知財関係者の方々と地元弁理士とのネットワークがより強固なものとなり、日本の知財が全国各地で活性化することを期待しております。

平成 30 年度 日本弁理士会 副会長 辻田 幸史

平成 30 年度の知財広め隊担当副会長の辻田幸史です。平成 29 年度に引き続き、平成 30 年度も、50 を超える地域で「知財広め隊」を開催し、2 年間で合計 108 の地域、47 全ての都道府県で多くの方々にご参加いただきました。開催にあたりましては、経済産業局や特許庁をはじめとする関係機関の皆様方にご支援ご協力をいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。

私たちは、地元の中小企業、自治体、金融機関、大学等に、地元の弁理士を身近な存在として親しんでいただき、知財活動がその地において活性化することを願ってこの事業を展開してまいりました。

日本弁理士会の事業としての「知財広め隊」は平成 30 年度をもって終了いたしますが、この 2 年間の私たちの活動を契機に、地元の皆様方と弁理士との交流が進み、地域における知財活動がますます活性化することを願っております。

平成 29 年度 日本弁理士会 執行理事

平成 30 年度 日本弁理士会 副会長 坂本 智弘

平成 28 年度知財広め隊準備ワーキンググループ、平成 29 年度の知財広め隊担当執行理事、平成 30 年度の知財広め隊担当副会長の坂本智弘です。

この事業は、渡邊敬介日本弁理士会会長のもと、2 年間で 100 回の知財広め隊セミナーの開催を目指して 2 年前にスタートしました。

当初、セミナー又は座談会と交流会をセットで開催するという点が私の中で上手くイメージすることができなかったところ、日本弁理士会の東海支部（平成 31 年 4 月より東海会）で行われていた知財経営サロンを参考に、このモデルを知財広め隊セミナーとして全国で広めて参りました。

知財広め隊ワーキンググループ、日本弁理士会の支部、地域の経産局、地方公共団体、商工会議所、発明協会、金融機関などの皆様にご協力をいただき、無事に 2 年間で 108 回開催できたことを、この場を借りて感謝申し上げます。

弁理士が、今後より一層、企業経営者の力となって、企業経営を支援できるように取り組んで参ります。知財広め隊事業にご協力いただき、本当に有難うございました。

平成 30 年度 日本弁理士会 執行理事 高橋 雅和

平成 30 年度の知財広め隊を担当させていただきました執行理事の高橋雅和です。平成 30 年度は、全国で 53 カ所の知財広め隊セミナー開催することができ、前年度と合わせますと、108 カ所の開催を行うことができ、総勢 5,000 人以上の方々にご参加いただきました。

また、平成 30 年度においては、特許庁主催の企画である巡回特許庁（全国 10 カ所）のオープニングイベント全てにおきまして、知財広め隊セミナーを 1 コマ併催するという、新たな企画を実現するに至りました。

このように多様かつ多くの企画を全国各地で実現するにあたっては、多様なご意見や多くのハードルがございました。しかしながら、最終的にその全てを実行することができたのは、共催・後援していただいた各機関や組織の皆さまのおかげであり、また現地でご協力いただいた多くの支部会員、ワーキンググループ員のご尽力の成果に他なりません。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

知財広め隊活動報告

知財広め隊ワーキンググループ長 小西 富雅

日本弁理士会は、中小企業に知財の有用性を認識してもらうため、平成29年度に知財広め隊を結成し、全国47の都道府県に赴き、2年間に計108回の知財セミナーを開催し、総勢5,000人以上の方々にご参加いただきました。

セミナーの開催にあたり、各地の自治体、商工会議所、金融機関等の協力を得て、知的財産に馴染みのない中小企業経営者の参加を図りました。また、平成30年度には全国10か所で開催された特許庁主催の「知財のミカタ巡回特許庁」のオープニングイベント全てにおいて、併催という形で個別セッションの一枠を頂戴して開催させていただきました。

1. 知財広め隊の結成と趣旨

◆なぜ「知財広め隊」？

わが国の中小企業においては、企業数割合に対して出願数割合が極めて低く、知的財産が適正に保護及び利用されていないという現状があります。中小企業の知財マインドの向上は、日本の産業界全体の知財活動をより積極的な方向に導くと考えます。このような観点から、日本弁理士会は、中小企業に知財の有用性を認識してもらうことに特化したセミナーを全国網羅的に行うべく、「知財広め隊」を結成致しました。

すなわち、知的財産に馴染みのない中小企業経営者に知的財産の価値、重要性、及び有用性等に気付いてもらうこと、つまり、中小企業支援の「掘り起こし」を目指すのが知財広め隊です。

しかしながら、知的財産に馴染みのない中小企業経営者は、私達弁理士にとっては付き合いのない方々ですので、自らセミナーを開催してもこのような人を呼び込むことは困難です。

そこで、自治体、商工会議所、商工会、金融機関、農業関係機関その他の機関・組織に協力を要請しました。そして、その組織の力を借りて知的財産に馴染みのない中小企業経営者の集客を行いました。

知財広め隊セミナー開催地の支部会員の皆様には、訪問先のアポ取りからその訪問、会場の手配、一般向けのチラシの作成、配布等々、多大なるご協力を頂きました。チラシを配布するだけではなく、機関・組織の担当者様と直接お会いすることにより、より大きな協力が得られ、本来の目的である「知的財産に馴染みのない中小企業の経営者」に対するコンタクトの機会が増えたものと実感しました。また、このような活動を通じて、機関・組織の担当者様とその地元の弁理士との関係性がより一層深まったのではないかと思います。

◆参加者が知的財産に馴染めるように

知的財産に馴染みのない中小企業経営者に、まさしく知的財産に馴染んでいただけるよう、講演会形式のセミナー（第1部）に加え、参加者が「参加でき」、地元の弁理士と「語り合える」交流の場（第2部）を設けました。交流の方式は、基本的には、少人数の座談会形式を採用しました（その他、各地の事情や希望に合わせ、立食形式やパネルセッションな

ど他の形式も採用しました)。少人数の座談会形式では、5～7人の参加者のグループに弁理士が司会として加わり、所定のテーマについて参加者に語り合っていました。このような座談会方式を採ることにより、一対一の個別相談方式に比べても、参加者により多くの知的財産に関する「気づき」を与えることを知財広め隊の特徴及び目標としました。

2. 知財広め隊の効果及び評価

(1) 参加者の内訳・評価

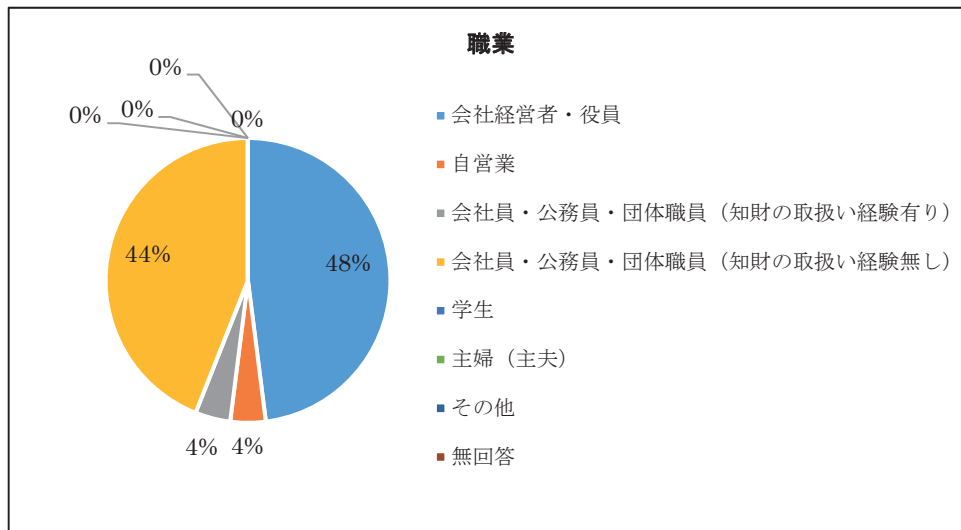
平成30年度に行ったセミナー（巡回特許庁におけるセミナーを除く）の参加者に対して行ったアンケート結果を＜表1＞に示します。知的財産に馴染みの無い人を「知財関係のセミナーに参加したことの無い人」と定義したとき、このアンケート結果は注目に値するものとなりました。

＜表1＞

| 知財広め隊・参加者の中で知財関係セミナーに初めて参加した人の割合 | | | | |
|----------------------------------|----------|-----------|-------------------------|----------|
| 開催場所 | セミナー参加者数 | アンケート回答者数 | 初回参加者数 (アンケート回答者のうち) | 初回参加者 % |
| 岩手(花巻市) | 30 | 25 | 16 | 64 |
| 宮城(気仙沼市) | 48 | 28 | 25 | 89 |
| 東京(文京区) | 29 | 13 | 9 | 69 |
| 新潟(新潟市) | 49 | 37 | 28 | 76 |
| 富山(高岡市) | 27 | 12 | 7 | 58 |
| 石川(小松市) | 21 | 14 | 12 | 86 |
| 鳥取(米子市) | 38 | 13 | 8 | 62 |
| 島根(松江市) | 222 | 81 | 49 | 60 |
| 岡山(倉敷市) | 25 | 17 | 10 | 59 |
| 広島(広島大学) | 33 | 11 | 6 | 55 |
| 香川(三豊市) | 46 | 28 | 16 | 57 |
| 愛媛(四国中央市) | 97 | 28 | 18 | 64 |
| 福岡(九州大学) | 76 | 44 | 41 | 93 |
| 福岡(福岡市) | 155 | 76 | 41 | 54 |
| 長崎(長崎市) | 36 | 25 | 10 | 40 |
| 熊本(水俣市) | 50 | 28 | 19 | 68 |
| 宮崎(宮崎市) | 61 | 45 | 33 | 73 |
| 鹿児島(鹿児島市) | 24 | 13 | 9 | 69 |
| 計 | 1067 | 538 | 357 | Ave.:66% |

特筆すべきは、セミナーに最後まで残ってアンケートに協力いただいた参加者の66%、ほぼ3人に2人が知財関係セミナーに初めて参加された方々であったということです。

参加者の内訳の代表例として岩手（花巻市）会場のものを示します。



岩手（花巻市）会場ではその参加者のほぼ半分が経営者であることがわかります。他の会場もほぼ同様な参加者割合でした。

以上より、知的財産に関するセミナーへ参加したことのない、即ち「知的財産に馴染みのない人」であって、もっぱら「中小企業の経営者」が知財広め隊のセミナーに最後まで参加いただいたことがわかります。

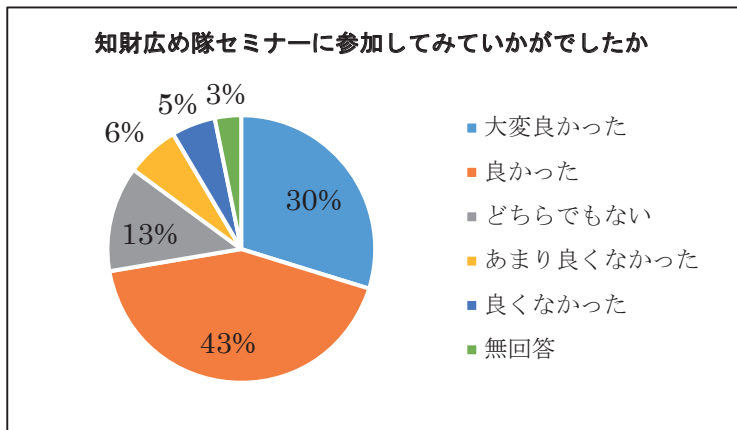
参加のきっかけもアンケート対象としており、各会場とも参加のきっかけのトップは「紹介によるもの」でした。弁理士は、知的財産に馴染みのない経営者とはあまり交流がありません。従いまして、この「紹介」は各支部の会員の協力はもちろんのこと、知財広め隊セミナーにご協力いただいた各地の組織・機関の皆様の声掛けによるところは大きかったものと推測されます。

アンケートでは、座談会・交流会に参加した感想も問うております。その結果、ほとんどの方が「大変役に立った」若しくは「役に立った」と回答されました。このような評価は、後述する会員からの知財広め隊への感想とも一致するものと思われます。このような効果は、支部会員の皆様が趣旨をよく理解して、参加者の方々の話を良く聞き、活発な意見交換が図られたことにつけるものと思われます。

（２）知財広め隊に参加した会員の評価

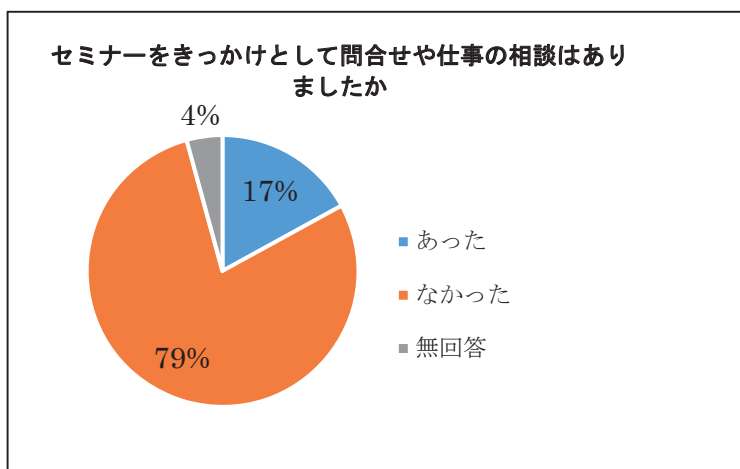
知財広め隊に参加した会員に対して行ったアンケートによれば、知財広め隊に参加して大変良かった、又は良かったと回答した会員は回答者中 73% でした（下記〈表 2〉参照）。その理由としては、知的財産に馴染みのない中小企業の経営者に知財について興味をもっていただいたこと、座談会・交流会により企業からの率直な意見が聞けたこと、関係機関との関係が強化されたこと、普段の業務では知り合えない組織や機関の方々と知り合う機会を持てたことなどが挙げられております。

<表 2>



さらに、回答者中 17% の会員が、セミナーをきっかけとして問い合わせや仕事の相談を受けたと回答しております（下記<表 3>参照）。この知財広め隊は短期的な出願件数の増加を主たる目標としたものではありませんでしたが、これまで知財に馴染みがなかった方々に対して、多少なりとも知財への興味の増進や新たな知財の発掘に貢献したという事実が確認できました。

<表 3>



（３）巡回特許庁との併催セミナー

平成 29 年度は全国 55 カ所で知財広め隊を行いました。この実施をきっかけとして、上述の通り巡回特許庁のオープニングイベント全てにおいて、併催という形で個別セッションの一幕を頂戴して開催いたしました。

この巡回特許庁との併催セミナーにおいても、基本的には初心者向け講義と、参加型の座談会の 2 部形式を採用しました。参加者からは、新鮮に感じていただき概ね好評であった旨のご意見をいただくことができました。

(4) その他

知財広め隊では、これまで日本弁理士会がセミナーを開催した経験のない地域についても積極的に開催を行ったため、開催地における機関・組織において「日本弁理士会」という存在を認知していただくきっかけにもなりました。参加者から好評を得た地域においては、協力機関から、今後もし是非開催して欲しいという要望をいただいたところもございました。

3. おわりに

中小企業にとって知的財産の重要性は益々高まっています。セミナー開催のために全国展開をし、その状況を実際に見聞しますと、各地の自治体や商工会議所等におかれましても、知的財産の重要性は十分に認識されており、それぞれ特色のある支援策がなされていることがわかりました。その中で、知財広め隊は「知的財産に馴染みのない中小企業の経営者」の知財マインドを掘り起こすという、独自のテーマを掲げたつもりでした。ただ、各地においても、名称や運営方法は異なるものの、実質的には同じところを目指す支援策が散見されました。

このように、中小企業に対する種々の知財支援策が実行されている環境下、複数の弁理士を無料で（参加者からみて）1つのセミナーに送り込めることに日本弁理士会の独自色が出せるのではないかと感じました。複数の弁理士を送り込めてこそ、 $1 \Rightarrow n$ の講義形式ではなく、 $m \Leftrightarrow n$ 形式の交流会が可能となります。このような交流会の代表例として座談会方式があります。この座談会方式では参加者（ n ）全員が（ m ）個の何れかのグループ（各グループの司会：弁理士）に参加し、そこで参加者全員に語ってもらいます。その他、知財広め隊では新しい $n \Leftrightarrow m$ 方式のポスターセッションも行いました（於：東海支部）。このポスターセッションでは、複数（ m ）のテーマのポスターにそれぞれ弁理士がついて同時平行で発表を行い、参加者（ n ）は何れかのポスター発表を選択します。ここでは自由に質問ができます。そして発表の時間を区切って参加者には他の興味あるポスター発表に移動していただき、これを時間の許す限り繰り返します。

知的財産に関する専門家としての弁理士にとって、一般的に、知的財産に馴染みの無い中小企業の経営者は遠い存在です。ところが、アンケート結果が示しますように、自治体、商工会議所、商工会、金融機関、農業関係機関などの各地の組織・機関の皆様と協力することで、知的財産の馴染みの無かった数多くの経営者を、まさしく、知的財産に馴染ませることができました。そして、 $m \Leftrightarrow n$ 方式の交流会を通じて、かかる経営者の皆様に何らかの「気付き」をプレゼントできたのではないかと思います。

以上、日本弁理士会の支部若しくは都道府県委員会が今後も1つの組織としてその地の自治体、商工会議所、商工会、金融機関、農業関係機関などの組織・機関の皆様と連携を深めることにより、中小企業に対する新しいタイプの知財支援がなされるようになることを期待し、結語と致します。

4. 知財広め隊ワーキンググループ隊員

【平成29年度】

■担当副会長

瀧野 文雄 尾崎 光三 渡邊 伸一

■担当執行理事

坂本 智弘 田村 和彦 細田 浩一 前田 大輔

■ワーキンググループ長

小西 富雅

■ワーキンググループ員

| | | | | |
|--------|-------|-------|--------|--------|
| 福田 伸一 | 井上 佳知 | 辻田 幸史 | 佐川 慎悟 | 須藤 浩 |
| 高橋 雅和 | 廣瀬 隆行 | 中野 圭二 | 石橋 良規 | 林 篤史 |
| 小野 友彰 | 須藤 晃伸 | 鈴木 一永 | 阪田 俊彦 | 大沼 加寿子 |
| 藤沢 昭太郎 | 立石 博臣 | 横井 敏弘 | 両部 奈穂子 | 帯包 浩司 |
| 伊藤 隆治 | 中田 洋二 | 寺尾 康典 | 上野 大輔 | 森田 海幹 |
| 前田 健一 | 内海 現太 | | | |

【平成30年度】

■担当副会長

辻田 幸史 黒田 勇治 渡邊 隆文 坂本 智弘

■担当執行理事

高橋 雅和 玉井 敬憲 前田 大輔 中 大介

■ワーキンググループ長

小西 富雅

■ワーキンググループ員

| | | | | |
|--------|-------|--------|-------|-------|
| 福田 伸一 | 佐川 慎悟 | 森 寿夫 | 須藤 浩 | 中野 圭二 |
| 石橋 良規 | 林 篤史 | 須藤 晃伸 | 椿 和秀 | 阪田 俊彦 |
| 大沼 加寿子 | 瀧野 文雄 | 藤沢 昭太郎 | 華山 浩伸 | 立石 博臣 |
| 両部 奈穂子 | 海野 徹 | 帯包 浩司 | 寺尾 康典 | 上野 大輔 |
| 森田 海幹 | 和田 隆滋 | 前田 健一 | 内海 現太 | |

知財広め隊活動一覧表

| 場所 (都道府県) | 開催日 | 主催 | 共催 | タイトル | セミナー 参加者数 (名) |
|--------------|---------------|--|--------------|--|---------------------|
| 北海道 | 2018/2/14(水) | 日本弁理士会北海道支部、 日本弁理士会 | 札幌商工会議所 | ビジネスで儲けるヒント、 失敗しないヒントがここにある！ | 39 |
| | 2018/12/12(水) | ◆巡回特許庁併催イベント | | あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方 | 27 |
| 青森県 | 2017/10/24(火) | イノベーション・ネットワークあおり 日本弁理士会東北支部、 日本弁理士会 | | あおり産学官金連携 Day 2017 知的財産活用ビジネスセミナー 「知財活用 あなたの企業は北風型？太陽型？」 | 47 |
| | 2018/9/4(火) | ◆巡回特許庁併催イベント | | あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方 | 30 |
| 岩手県 | 2018/5/22(火) | 日本弁理士会東北支部、 日本弁理士会 | 花巻信用金庫 | ビジネスと知財 ～切っても切れないその関係～ | 30 |
| 宮城県 | 2018/5/28(月) | 日本弁理士会東北支部、 日本弁理士会 | — | 売り上げを伸ばす！基礎から学ぶブランディング戦略 ～知的財産活用のすすめ～ | 48 |
| 秋田県 | 2018/2/19(月) | 日本弁理士会東北支部、 日本弁理士会 | (株) 秋田銀行 | 知財からはじまる！秋田発のものづくり | 45 |
| 山形県 | 2018/2/22(木) | 日本弁理士会東北支部、 日本弁理士会 | — | ヒット商品・ブランド化のヒント | 29 |
| 福島県 | 2017/7/19(水) | 日本弁理士会、 日本弁理士会東北支部 | 福島県 | 目指せ、「下町ロケット」！大企業に負けない、 中小企業の戦い方 | 262 |
| | 2019/2/8(金) | 日本弁理士会、 日本弁理士会東北支部 | 福島県 | ニッチトップに知財は欠かせない | 111 |
| 新潟県 | 2017/12/21(木) | 日本弁理士会北陸支部、 日本弁理士会 | — | ぜひ知ってもらい隊！最近の特許事情や商標のイロハ | 30 |
| | 2018/10/2(火) | 日本弁理士会北陸支部、 日本弁理士会 | — | ぜひ知ってもらい隊！商標登録の基礎のキソ！ (弁理士による無料商標調査の参加特典付き) | 49 |
| 富山県 | 2018/3/2(金) | 日本弁理士会北陸支部、 日本弁理士会 | (一社) 富山県発明協会 | 「ただわかるチャ！意匠」～あなたのデザイン守り隊～ | 40 |
| | 2018/9/14(金) | 日本弁理士会北陸支部、 日本弁理士会 | (一社) 富山県発明協会 | 特許・商標を活用して売上アップ！ ～中小企業のための知財戦略入門講座～ | 27 |
| 石川県 | 2018/3/2(金) | 日本弁理士会北陸支部、 日本弁理士会 | 七尾商工会議所 | 知財（特許・商標）を活用して地域起こしを | 28 |
| | 2018/7/19(木) | 日本弁理士会北陸支部、 日本弁理士会 | 小松商工会議所 | 2023 年北陸新幹線 小松・加賀地区開通までに何ができる？ | 21 |
| 福井県 | 2017/11/17(金) | 日本弁理士会北陸支部、 日本弁理士会 | — | 「いちほまれ」の開発経過と特徴 | 32 |
| | 2018/10/30(火) | ◆巡回特許庁併催イベント | — | あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方 | 30 |

| 場所 (都道府県) | 開 催 日 | 主 催 | 共 催 | タ イ ト ル | セミナー 参加者数 (名) |
|--------------|---------------|---|---------------------------------|--|---------------------|
| 茨城県 | 2017/12/7(木) | 日本弁理士会知的財産経営センター | 日本弁理士会関東支部 | 知的財産に関する起業・企業支援 | 20 |
| | 2018/2/9(金) | 日本弁理士会関東支部 | — | 初心者のための知的財産制度 | 21 |
| | 2018/11/27(火) | 日本弁理士会関東支部、 日本弁理士会 | 石岡商工会議所 | 商品・サービスを支える知的財産権 | 19 |
| 栃木県 | 2018/3/2(金) | 日本弁理士会関東支部 | — | 下町ロケットに学ぶ中小企業の知財・経営戦略 | 60 |
| | 2019/1/24(木) | 日本弁理士会関東支部、 日本弁理士会 | — | 自社を守った社長が伝える知財の必要性 | 23 |
| 群馬県 | 2017/7/21(金) | 日本弁理士会関東支部 | 日本弁理士会 | セミナー「初めての特許入門編」／パネルディスカッション 「成功への道しるべ」 | 33 |
| 埼玉県 | 2017/9/22(金) | 日本弁理士会関東支部 | — | 知らずに貯まった企業の財産 気付いて増やす知恵講座 | 31 |
| | 2018/9/25(火) | 日本弁理士会関東支部 | — | 売れる！儲かる！！商標のコツ | 25 |
| | 2018/10/26(金) | 日本弁理士会関東支部 | 埼玉県南四市商工会連絡協議会 (朝霞、志木、新座、和光) | 事業における知的財産とのつきあい方 | 38 |
| | 2018/12/13(木) | 日本弁理士会関東支部 | (大) 埼玉大学 | 弁理士と仕事、大学と知的財産 | 46 |
| 千葉県 | 2017/9/27(水) | 日本弁理士会関東支部 (公財)千葉県産業振興センター、 (一社)千葉県発明協会 | — | 発明・商品・サービスを守る知的財産権 | 18 |
| | 2018/9/14(金) | 日本弁理士会関東支部 (一社)千葉県発明協会、 (公財)千葉県産業振興センター | — | 特許公開情報から読み取るライバルの特許・技術戦略 | 31 |
| 東京都 | 2017/9/8(金) | 日本弁理士会関東支部 | — | ヒット商品を企画しよう！弁理士直伝！ はじめての『差別化戦略』ワークショップ ～売れる商品は「差別化」が9割！～ | 17 |
| | 2017/11/1(水) | 日本弁理士会関東支部 | — | クラウドファンディングと知財 | 52 |
| | 2018/2/8(木) | 日本弁理士会関東支部 | (株)日本政策金融公庫 | 自分の「ブランド」をどう守る！？ 知らないで損するブランドとデザインの守り方 | 24 |
| | 2018/2/13(火) | 日本弁理士会関東支部 | 東京商工会議所文京支部 | ブランド企業は「夢」じゃない！ ブランドづくりからその保護まで | 42 |
| | 2018/2/20(火) | 町田商工会議所、 日本弁理士会関東支部 | — | 「クラウドファンディングと知的財産」& 「ビジネスにおけるネーミングと商標」 | 20 |
| | 2018/3/5(月) | 日本弁理士会関東支部 | — | ネットショップの成功法則～マネしない・ させないために押さえるべきこと～ | 30 |
| | 2018/3/7(水) | 日本弁理士会関東支部 | — | クラウドファンディングに成功する人・失敗する人 ～知財リスク、税制リスクとともに～ | 37 |
| | 2018/7/27(金) | (一社) 婦人発明家協会 | — | 知財で副業 ～はじめての一步～ | 29 |

| 場所 (都道府県) | 開 催 日 | 主 催 | 共 催 | タ イ ト ル | セミナー 参加者数 (名) |
|--------------|---------------|---|---|---|---------------------|
| 東京都 | 2018/10/2(火) | 日本弁理士会関東支部 | - | 飲食ビジネスの「それマル!それダメ!」 行列のできる人気店をつくるネーミング | 19 |
| | 2018/11/12(月) | 日本弁理士会関東支部 | - | クラウドファンディングで成功企業への初めの一歩 ～円滑な資金調達と知財保護のポイント～ | 44 |
| | 2019/1/31(木) | 日本弁理士会関東支部 | 東京商工会議所城北ブロック (文京支部、北支部、荒川支部、 豊島支部、板橋支部、足立支部) | ニュースから紐解く商標法 | 77 |
| | 2019/2/1(金) | 町田商工会議所、 日本弁理士会関東支部 | - | 「成功企業への第一歩(知的財産活用編)」& 「自社の強みを生かす知財戦略と成功例の紹介」 | 18 |
| | 2019/2/8(金) | 日本弁理士会関東支部 | - | 「HP・ブログ・SNS」〇〇を知らない人は損をする | 25 |
| 神奈川県 | 2017/11/15(水) | 日本弁理士会関東支部 | - | ビジネスファーストに知財を! | 21 |
| | 2018/2/28(水) | 日本弁理士会関東支部 | - | 看板・名前をずっと使い続けるために ／社長が知っておきたい商標の3つのポイント | 31 |
| | 2018/11/6(火) | 日本弁理士会関東支部 | - | 「観光」と「食」の街よこすかを活性化しよう | 26 |
| | 2018/11/7(水) | 日本弁理士会関東支部 | - | いいね!を集めて信用の商標をつくろう | 23 |
| 山梨県 | 2017/9/29(金) | 日本弁理士会関東支部、 日本弁理士会 | (一社)山梨県発明協会 | 海外ビジネスに知財を活かす情報 | 39 |
| | 2018/10/19(金) | 日本弁理士会関東支部 | (一社)山梨県発明協会 | 資金調達手段及びマーケティング手段としての クラウドファンディングと弁理士の役割 | 26 |
| 長野県 | 2018/7/27(金) | 日本弁理士会東海支部、 長野県、(一社)長野県発明協会 | - | ～信州発～特許・商標を活用成功した企業になろう | 88 |
| 岐阜県 | 2017/8/25(金) | 日本弁理士会東海支部 | 岐阜新聞社 | ライバルと戦う知的財産権 ～取っ組み合いの最前線から～ | 45 |
| | 2018/8/24(金) | 日本弁理士会、 日本弁理士会東海支部 | 岐阜商工会議所 | 知財先進県「岐阜」を目指して | 57 |
| 静岡県 | 2018/2/2(金) | 日本弁理士会、富士宮市、 富士宮商工会議所 | - | 開放特許活用で企業のさらなる発展を目指す | 87 |
| | 2018/9/10(月) | ◆巡回特許庁併催イベント | - | あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方 | 26 |
| | 2018/10/5(金) | 日本弁理士会東海支部 | - | 発明の創出とグレードアップ～キャノンの事例から～ | 35 |
| 愛知県 | 2017/7/20(木) | 愛知県、名古屋商工会議所、 (一社)愛知県発明協会、 日本弁理士会東海支部 | - | 「知財経営サロン、弁理士知財キャラバンの活用法」 &「企業の健康診断～ローカルベンチマークの活用」 | 79 |
| | 2017/11/27(月) | 日本弁理士会、 日本弁理士会東海支部 | - | 東三河!知財はある!!さて、どう活かす!? ～地域の知財を結集し一歩先の豊かさを実感できる東三河へ～ | 69 |
| | 2018/7/19(木) | 愛知県、名古屋商工会議所、 (一社)愛知県発明協会、 日本弁理士会東海支部 | - | 知的財産で業績UPのための知的財産経営サロン、 弁理士知財キャラバンの活用法 | 64 |

| 場所 (都道府県) | 開 催 日 | 主 催 | 共 催 | タ イ ト ル | セミナー 参加者数 (名) |
|--------------|---------------|--------------------------------|--------------|--|---------------------|
| 愛知県 | 2018/11/29(木) | ◆巡回特許庁併催イベント | - | ヒット商品から学ぶ！成功の秘訣 | 43 |
| 三重県 | 2018/2/16(金) | 日本弁理士会東海支部、 伊勢新聞社 | - | 知的財産を活用して企業・ 地域を活性化させ地方創生する | 53 |
| | 2018/11/16(金) | 日本弁理士会東海支部、 伊勢新聞社 | - | 週末パテントセミナー 2018in津「地域金融機関に おける事業性評価に基づく融資と知的財産の活用」他 | 47 |
| 滋賀県 | 2018/10/6(土) | 日本弁理士会近畿支部 | - | すぐに役立つ！中小企業知財法務の全て ～知財契約と著作権を中心に～ | 54 |
| 京都府 | 2018/11/3(土) | 日本弁理士会近畿支部 | - | 中小企業における知財戦略コンサルティングの 活用法と成功例 | 48 |
| 大阪府 | 2017/11/7(火) | 日本弁理士会近畿支部 | - | 半日でマスター！事業に役立つ知的財産のイロハ | 40 |
| | 2018/3/8(木) | 日本弁理士会近畿支部 | 大阪商工会議所 | 関西「知財の輪」セミナー・交流会 ～ INPIT-KANSAI の利活用のために～ | 277 |
| | 2018/3/16(金) | 日本弁理士会知的財産経営センター | 日本弁理士会近畿支部 | 泉州タオルを地域ブランドに高めるための挑戦 | 46 |
| | 2018/10/16(火) | ◆巡回特許庁併催イベント | | 経営と知財の深い関係 | 62 |
| | 2018/11/6(火) | 日本弁理士会近畿支部 | - | 自社に眠っている知財を発掘し事業に活用しよう | 33 |
| 兵庫県 | 2017/11/4(土) | 日本弁理士会近畿支部 | - | 基礎から学ぶグローバル特許出願戦略 | 18 |
| | 2018/1/25(木) | 養父市 | 日本弁理士会 | 地域にある知財を活用して地域を活性化しよう | 27 |
| 奈良県 | 2017/10/7(土) | 日本弁理士会近畿支部 | - | 「目から鱗」の実用新案！ ～中小企業・大企業を問わず、 実用新案を有効に活用する～ | 33 |
| 和歌山県 | 2017/10/7(土) | 日本弁理士会近畿支部 | - | 中小企業における海外での知的財産権 ～登録方法や費用支援について～ | 16 |
| 鳥取県 | 2018/10/26(金) | 日本弁理士会中国支部、 日本弁理士会 | 中国地域知的財産戦略本部 | 宝は足元に、農産物・食品ブランドは、 こうやって作ってごしない | 38 |
| 島根県 | 2017/11/27(月) | 日本弁理士会中国支部、 日本弁理士会 | 中国地域知的財産戦略本部 | 「PAT やってみた」ら「もうけの花道」に ～事業の落とし穴を避ける知恵～ | 41 |
| | 2018/7/26(木) | 日本弁理士会、 日本弁理士会中国支部 | 島根県 | 会って聞いちゃおう！ブランド&アイデア活用法 | 222 |
| 岡山県 | 2018/3/23(金) | 日本弁理士会中国支部、 日本弁理士会 | 中国地域知的財産戦略本部 | 「PAT やってみた」ら「もうけの花道」に ～事業の落とし穴を避ける知恵～ | 17 |
| | 2018/12/7(金) | 日本弁理士会中国支部、 倉敷ファッションセンター(株) | - | アパレル業界にも、こんな知財の落とし穴 ～法的トラブルを避けるために知っておきたいこと～ | 25 |
| 広島県 | 2017/12/8(金) | 日本弁理士会中国支部、 日本弁理士会 | 中国地域知的財産戦略本部 | 「PAT やってみた」ら「もうけの花道」に ～事業の落とし穴を避ける知恵～ | 36 |

| 場所 (都道府県) | 開催日 | 主催 | 共催 | タイトル | セミナー 参加者数 (名) |
|--------------|---------------|---|--|---|---------------------|
| 広島県 | 2018/10/10(水) | 日本弁理士会中国支部、 日本弁理士会 | 中国地域知的財産戦略本部 | 「PAT やって見た」ら「もうけの花道」に | 33 |
| 山口県 | 2017/12/4(月) | 日本弁理士会中国支部、 日本弁理士会 | 中国地域知的財産戦略本部 | 「PAT やって見た」ら「もうけの花道」に ～事業の落とし穴を避ける知恵～ | 39 |
| | 2018/9/27(木) | ◆巡回特許庁併催イベント | - | PAT やって見たらもうけの花道に | 23 |
| 徳島県 | 2018/2/21(水) | あわぎんビジネスカレッジ、 (株)阿波銀行、 日本弁理士会四国支部、 日本弁理士会 | - | 知財の力～事業戦略に知財は必要か？～ | 36 |
| | 2018/9/28(金) | 日本弁理士会四国支部、日本弁理士会、 徳島県中小企業診断士協会、香川県中小 企業診断士協会、愛媛県中小企業診断 士協会、高知県中小企業診断士協会、 ㈱日本政策金融公庫四国内6支店 | - | 商標や特許を経営に活かすヒントを得よう！ | 41 |
| 香川県 | 2017/9/6(水) | (公財)かがわ産業支援財団 | | 企業価値を高める～知的財産活用入門～ | 25 |
| | 2017/10/14(土) | 日本弁理士会四国支部、徳島県中小 企業診断士協会、香川県中小企業診断士協会、 愛媛県中小企業診断士協会、高知県中小 企業診断士協会、㈱日本政策金融公庫四国内 6支店 | - | 事例で身近に学ぶ！中小企業の知財戦略セミナー | 39 |
| | 2018/11/19(月) | 日本弁理士会四国支部、 日本弁理士会 | 三豊市 | ベンチャーから世界へ～斬新な発想と知財活用～ | 46 |
| 愛媛県 | 2018/2/13(火) | 日本弁理士会四国支部、 日本弁理士会 | (株)西条産業情報支援センター | 商標にまつわるエトセトラ ～商標の活用による成功例・失敗例～ | 48 |
| | 2019/1/11(金) | 日本弁理士会四国支部、 日本弁理士会 | 伊予三島ライオンズクラブ | 四国は紙国！紙産業の集積地で知財を活用した地域おこしを ～知的財産を活かした中小企業の戦い方を学ぶ～ | 97 |
| 高知県 | 2018/1/12(金) | 高知県、日本弁理士会 | - | ブランドってなあに？ ～基礎からの商標権とブランディング戦略～ | 28 |
| | 2019/1/24(木) | ◆巡回特許庁併催イベント | - | 高知発！ヒット商品への道 ～行き先を決めるのは地場産品のチカラ～ | 31 |
| 福岡県 | 2017/11/22(水) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | - | 目指せ、「下町ロケット」！～大企業に負けない、 ニッチトップになるための戦略～ | 103 |
| | 2018/5/28(月) | 日本弁理士会、 日本弁理士会九州支部 | - | 知的財産っておもしろい ～切っても切れない起業と知財～ | 76 |
| | 2018/12/4(火) | 日本弁理士会、 (株)福岡銀行 | 日本弁理士会九州支部 | 稼げる知財の活かし方 | 155 |
| 佐賀県 | 2018/3/2(金) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | 佐賀商工会議所、 佐賀県商工会連合会 | 経営に役立つ知財活用事例（ヒット商品・ブランド化） | 22 |
| | 2018/8/22(水) | ◆巡回特許庁併催イベント | - | あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方 | 42 |
| 長崎県 | 2018/2/13(火) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | 長崎商工会議所 | ヒット商品・ブランド化への視点 「もうけの近道」にむけて | 30 |
| | 2018/12/4(火) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | 長崎商工会議所、 長崎県商工会連合会、 長崎県中小企業団体中央会 | 知らなかったじゃ済まされない！？ ネット時代に身につけておくべき知財リテラシー | 36 |
| 熊本県 | 2017/11/30(木) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | (株)日本政策金融公庫 熊本創業支援センター | 経営に役立つ知財活用事例（ヒット商品・ブランド化） | 44 |

| 場所 (都道府県) | 開催日 | 主催 | 共催 | タイトル | セミナー 参加者数 (名) |
|--------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|
| 熊本県 | 2018/11/30(金) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | (株)日本政策金融公庫 熊本創業支援センター | 水俣から！ 知財で大企業に負けない知財経営を！！ | 50 |
| 大分県 | 2018/2/2(金) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | — | 経営に役立つ知財活用事例 (ヒット商品・ブランド化) | 28 |
| | 2019/2/5(火) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | 大分県 | 下町ロケットの弁理士が語る ～ニッチトップになるための知財活用戦略～ | 62 |
| 宮崎県 | 2018/2/22(木) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | (株)日本政策金融公庫 熊本創業支援センター | 経営に役立つ知財活用事例 (ヒット商品・ブランド化) | 46 |
| | 2018/11/14(水) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | (株)日本政策金融公庫 熊本創業支援センター | ヒット商品・ブランド化へのヒント | 61 |
| 鹿児島県 | 2017/12/4(月) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | (株)日本政策金融公庫 熊本創業支援センター | 経営に役立つ知財活用事例 (ヒット商品・ブランド化) | 36 |
| | 2018/10/26(金) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | (株)日本政策金融公庫 熊本創業支援センター | 商品アイデア・ネーミング これなら取れる知的財産権！ | 24 |
| 沖縄県 | 2017/12/12(火) ～12/13(水) | 日本弁理士会九州支部、 日本弁理士会 | (一社)沖縄県発明協会 | 経営に活かす知財戦略 ～知財が成長のカギになる～ | 12/12 40 - 12/13 30 |
| | 2018/2/13(火) | 日本弁理士会九州支部 | 石垣市 | 経営に役立つ知財活用事例 (ヒット商品・ブランド化) | 22 |
| | 2019/1/30(水) | ◆巡回特許庁併催イベント | — | 商標のトリセツ ～あなたもやってみよう！ブランド作り～ | 20 |

延べ参加人数：5,029 人

北海道

<知財広め隊セミナー in 北海道>

ビジネスで儲けるヒント、失敗しないヒントがここにある！

【開催日】平成30年2月14日（水）【場 所】北海道経済センター

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 17:00 開会挨拶
 17:05 講演「～ビジネスで儲けるヒント、失敗しないヒントがここにある～」
 講師：内海 司 氏（日本弁理士会北海道支部 副支部長）
 18:00 座談会
 20:00 閉会挨拶

参加者

39名

イベントの様子

基調講演では、「ビジネスで儲けるヒント、失敗しないヒントがここにある」と題する講演が内海弁理士からなされた。この講演では、知的財産権になじみの薄い可能性がある参加者を意識し、特許のみならず、意匠や商標を含め知的財産について簡単に説明がなされた。

また、講演では、企業の利益と知的財産権について統計データを用い説得力をもった説明がなされ、ノウハウとするか特許出願とするかについて、オープン＆クローズ戦略にも触れられた。さらに、企業の実際の知財の活用事例についても紹介されており、参加者は興味のある話題に集中して聞き入っていた。

地元弁理士との軽食付き座談会では、テーブルに分かれ、参加者と弁理士とが知的財産に関する交流を図った。いずれのテーブルも担当弁理士が参加者の知的財産に関する疑問に答えるなど、活発な相談や情報交換が行われていた。



主催：日本弁理士会北海道支部、日本弁理士会

共催：札幌商工会議所

後援：北海道経済産業局、北海道、北海道知的財産戦略本部、（一社）北海道発明協会、I N P I T北海道知財総合支援窓口、
 （独）中小企業基盤整備機構北海道本部、（公財）北海道科学技術総合振興センター

青森

<知財広め隊セミナー in 青森> 「あおり産学官金連携Day 2017」知的財産活用ビジネスセミナー 知財活用あなたの企業は北風型？太陽型？ 【開催日】平成29年10月24日（火）【場所】ホテル青森

プログラム

13:05 講演「知財活用あなたの企業は北風型？太陽型？」
講師：三浦 誠一 氏（弁理士）

18:00 交流会

19:00 閉会挨拶

参加者 47名

イベントの様子

まず、三浦弁理士より、知的創造サイクル実現に向け、童話「北風と太陽」を題材に、企業活動の様々な場面における知財戦略・活用法について、具体例を挙げながら講演がされた。同時に青森県の事業である、知財活用サロンの事例報告及び知財活用企業の展示があった。

その後、交流会を産学官金連携Day 2017と合同で開催した。
青森県知事の挨拶に続き、渡邊会長が乾杯の挨拶を行い、交流会に参加されていた台湾の企業の経営者60名をはじめとする参加者と積極的に意見交換がなされた。



主催：イノベーション・ネットワークあおり
共催：日本弁理士会東北支部、日本弁理士会

岩手

<知財広め隊セミナー in 岩手>

ビジネスと知財 ～切っても切れないその関係～

【開催日】平成30年5月22日（火）【場 所】ホテルグランシェール花巻

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 15:00 開会挨拶
- 15:05 講演「ビジネスと知財 ～切っても切れないその関係～」
講師：村雨 圭介 氏（日本弁理士会東北支部 幹事）
- 16:15 参加弁理士の紹介、主催及び後援団体の事業紹介
- 16:30 ワークショップ「自分のビジネスと知財の接点を探ろう！」
- 18:00 閉会挨拶

参加者

30名

イベントの様子

第1部の講演では、中小企業の知財の活用方法について事例を織り交ぜて説明があった。

教科書的ではない身近な事例が多く、参加者は盛んにメモを取っていた。お菓子で意匠登録をしている企業の話や、自社技術を他の商品に展開して会社を立て直した話など、参加していた起業家や後継者に好評であったように感じた。また、他では聞くことができない講師のクライアントが陥った知財での失敗談を惜しみなく披露していただいた。知財活用の良い点だけを学ぶのではなく、リスクも知ることで、より知財を身近に感じたのではなかろうか。

第2部のワークショップでは、各テーブルに弁理士を配置し、グループ毎に、いま自社で抱える知財の悩みやアイデアなどを話してもらった。他社の知財の悩みや活用事例は他の参加者の気づきに繋がったようである。さらに、パソコンを用いて J-PlatPat による特許・商標検索のやり方などレクチャーを行い、自社の知財の調べ方を学んでもらった。



主催：日本弁理士会東北支部、日本弁理士会

共催：花巻信用金庫

後援：花巻市、花巻商工会議所、（一社）ビジネスサポート花巻、花巻 夢・企業家塾

宮城

<知財広め隊セミナー in 気仙沼>

売上げを伸ばす！基礎から学ぶブランディング戦略～知的財産活用のすすめ～

【開催日】平成30年5月28日（月）【場 所】菓子舗サイトウ

プログラム

- 13:30 開会挨拶
 13:35 講演「基礎から学ぶブランディング戦略～知的財産活用のすすめ～」
 講師：伊藤 夏香 氏（弁理士）
 14:35 知的財産に関する事業等の紹介
 15:00 交流会及び無料相談会
 16:00 閉会挨拶

参加者

48名

イベントの様子

講演では、伊藤弁理士より他社の製品との差別化を図るために、商標を利用することの有
 用性について、事例を挙げながら説明がなされ、弁理士の利用の仕方についても併せて説明
 があった。受講者は、商標を自身の事業に活かすことができること、宮城県内では年間どのくらいの商標出
 願がなされているのか、他社はどのようなものを商標出願しているのか、等の点について興味があるよう
 であった。

また、宮城県発明協会、気仙沼信用金庫及び当会東北支部より、それぞれが取り組んでいる知財の講習会
 や相談会についての紹介がなされた。

交流会では、セミナーに参加されたほとんどの方がそのまま参加してくださり、会場となった菓子店のデ
 ザートを食べながら終始和やかな雰囲気で行った。

知財セミナーが頻繁に開催される仙台市から車で3時間近くかかる地域であることもあり、知財セミナー
 に初めて参加する方が多かったようで大変有意義なセミナーになったと思われる。



主催：日本弁理士会東北支部、日本弁理士会

後援：気仙沼商工会議所、気仙沼信用金庫、（一社）宮城県発明協会

秋田

<知財広め隊セミナー in 秋田>

知財からはじまる！秋田発のものづくり

【開催日】平成30年2月19日（月）【場 所】ルポールみずほ

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 15:00 開会挨拶
- 15:05 講演「地域版 TL0「ネットビックスプラス」の紹介」
講師：藤木 健介 氏（株式会社秋田銀行地域サポート部）
- 15:20 講演「知財からはじまる！秋田発のものづくり」
講師：齋藤 博子 氏（弁理士）
- 16:20 県内弁理士による自己紹介
- 17:00 交流会
- 18:00 閉会挨拶

参加者

45名

イベントの様子

最初に、共催の秋田銀行様から地域版 TL0「ネットビックスプラス」をご紹介いただいた。ネットビックスプラスは北東北の大学と銀行が提携して産学連携を促進する事業であり、今後の取り組みに期待したい。

次に、「知財からはじまる！秋田発のものづくり」をテーマに、地元企業の特許や実用新案の活用事例を交えて権利の取得から活用までの流れについて具体的な説明がなされた。対象企業の社長が出席され、実際の製品を持参していただいたので、参加者に知財の活用を実感してもらうことができた。

交流会では、企業の方だけでなく、県や大学の職員の方とも情報交換をすることができ、今後の知財普及、活用のためのネットワーク作りに役立つものと思われる。



主催：日本弁理士会東北支部、日本弁理士会

共催：（株）秋田銀行

後援：秋田県、（公財）あきた企業活性化センター、（大）秋田大学

山形

<知財広め隊セミナー in 山形>

ヒット商品・ブランド化のヒント

【開催日】平成30年2月22日（木）【場 所】山形グランドホテル

プログラム

- 16:00 開会挨拶
 16:05 講演「ヒット商品・ブランド化のヒント」
 講師：黒沼 吉行 氏（日本弁理士会東北支部 幹事）
 17:00 知的財産に関する各種の支援についてのご紹介
 17:15 懇親会
 19:00 閉会挨拶

参加者

29名

イベントの様子

講演では、知的財産権制度の概要を説明した上で、商品企画における知財の関わり合いと、特許と商標の活用事例を説明した。テキストのほかに当会発行の冊子「ヒット商品はこうして生まれた！」を配布しており、ヒット商品の事例の特許公報や商標登録公報を参照して、如何なる権利で成立しているのかを解説した。さらに、ヒット商品を生み出すための着想として、商品開発のスキームにおける課題の抽出とコンセプトの構築の重要性を説明するとともに、この観点からのヒット商品の事例を説明した。

懇親会では、参加いただいた後援団体の協力を受け、外国出願に際しての費用補助や、輸出入段階における知財戦略、および工業製品に関するデザインの保護について、参加者の個別具体的な質問に対応でき、参加者と地域の弁理士の良い交流の機会となった。



主催：日本弁理士会東北支部、日本弁理士会

後援：東北経済産業局、山形県、山形市、（公財）山形県企業振興公社、（株）日本政策金融公庫山形支店、山形商工会議所、山形県商工会連合会、山形県中小企業団体中央会、（一社）山形県発明協会、山形県知財総合支援窓口、（独）日本貿易振興機構山形貿易情報センター、（独）国際協力機構東北支部

福島

<知財広め隊セミナー in 福島>

目指せ、「下町ロケット」！大企業に負けない、中小企業の戦い方

【開催日】平成29年7月19日（水）【場 所】ホテルハマツ

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 13:30 開会挨拶
- 13:45 基調講演「小説『下町ロケット』に学ぶ、大企業に負けない、中小企業の戦い方」
～福島から始めよう。復興に向け、地元企業の「チカラ」を「カタチ」に。～
講師：佐藤 辰彦 氏（弁理士）
- 14:25 パネルディスカッション「福島復興に向け、東北の成功事例から知財活用の秘訣を探る」
パネリスト：渡辺 忠一 氏（フロンティア・ラボ株式会社 代表取締役）
小松 道男 氏（小松技術士事務所 所長 技術士）
高島 靖明 氏（秋田プロバスケットボールクラブ株式会社 専務取締役）
※平成29年8月2日より「秋田ノーザンハピネッツ株式会社」に社名変更
丹治 惣兵衛 氏（福島大学地域創造支援センター 客員教授）
水野 博文 氏（日本弁理士会東北支部 支部長）
酒井 俊之 氏（弁理士）
モデレーター：佐藤 辰彦 氏（弁理士）
- 16:00 講演「知的財産活用による中小企業の活性化と福島の復興」
講師：吉田 和史 氏（福島県商工労働部産業創出課長）
- 16:30 交流会
- 18:00 閉会挨拶

参加者

262名

イベントの様子

冒頭では、当会会長、鈴木正晃福島県副知事のほか、吉野正芳復興大臣にも臨席を賜り、ご挨拶いただいた。

基調講演では、小説「下町ロケット」に登場する企業の特許取得の失敗例を挙げて、基本特許だけでなく発明内容を応用した特許もあわせて取得し、自社の技術を保護することの必要性や、日ごろから弁理士、外部専門家、支援機関との連携を構築することが重要であること、知財を有効に活用することで企業価値を向上させること等、知財の経営への活用方法について説明がなされた。

パネルディスカッションでは、東北地域の企業代表者らによる知財を用いた事業の成功例が紹介され、福島の復興には、知財専門家の活用を通しての事業成長が福島の復興にも繋がるとの結論に至った。

最後の講演では、知的財産の活用による中小企業の活性化と福島の復興について、研究開発を進める上で、構想段階から知財に関する手続を意識するべき、とした上で、福島県の支援制度、相談窓口の紹介がなされた。

その後の交流会では、12の団体がブース出展をし、参加者との間で活発な意見交換が行われた。



主催：日本弁理士会、日本弁理士会東北支部

共催：福島県

後援：復興庁、特許庁、東北経済産業局、郡山市、(独)中小企業基盤整備機構東北本部、

(独)日本貿易振興機構福島貿易情報センター、(独)工業所有権情報・研修館、(公財)福島県産業振興センター、

(一社)福島県発明協会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県中小企業団体中央会、

福島県経営者協会連合会、福島県信用保証協会、(一社)福島県銀行協会、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構、

(一社)産業サポート白河、(株)ゆめサポート南相馬、会津産業ネットワークフォーラム、

(公社)いわき産学官ネットワーク協会、(大)福島大学、(大)会津大学、日本大学工学部、福島工業高等専門学校、

(株)日本政策金融公庫福島支店、(株)東邦銀行、(株)福島銀行、(株)大東銀行、(株)日刊工業新聞社福島支局、

福島民報社、福島民友新聞社、(一社)共同通信社福島支局、(株)時事通信社福島支局

新潟

<知財広め隊セミナー in 新潟>

ぜひ知ってもらい隊！商標登録の基礎のキソ！

弁理士による無料商標調査の参加特典付き

【開催日】平成30年10月2日（火）【場 所】新潟東映ホテル「白鳥の間」

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 15:00 開会挨拶
 15:05 講演「商標を取るためには」（手続概要、他者類似商標への対応 等）
 講師：松浦 康次 氏（日本弁理士会北陸支部 副支部長）
 15:55 講演「商標にかかわるトラブル・活用事例」
 （フランクミュラー事件等の世間で話題となった事例）
 講師：宮田 敦久 氏（弁理士）
 16:50 交流会
 18:30 閉会挨拶

参加者

49名

イベントの様子

最初に、北陸支部支部長の吉井雅栄弁理士が挨拶を行い、知財広め隊の趣旨や意義などの説明が併せて行われた。

続く講演では、第1部で商標制度の基本的な説明がなされ、第2部では商標のトラブルや活用の事例を示し商標登録の具体的な意義や効果についての説明がなされた。特に第2部は世間的にも話題になった事例を数多く用いた説明であったため、参加者も大変興味深く聞き入っており、商標制度への理解が深まったと思われる。

参加者は知的財産のほぼ初心者の方から中級者の方がほとんどであり、起業予定の方の参加もあった。当日受付も含めると定員を超える参加者となり大盛況であった。

交流会では、弁理士による個別の商標簡易調査を行った。事前予約の商標調査のみならず、その場で希望のあった知財個別相談を含めると10件以上の調査・相談があった。全体交流の場では、弁理士および参加者にマイクを回しながら意見交換や質問を受けるなど、参加者と弁理士の間で十分な交流が図られた。



主催：日本弁理士会北陸支部、日本弁理士会

後援：（一社）新潟県発明協会

富山

<知財広め隊セミナー in 富山>

特許・商標を活用して売上アップ！～中小企業のための知財戦略入門講座

【開催日】平成30年9月14日（金）【場 所】高岡商工ビル 802・803 号室

プログラム

- 14:00 開会挨拶
 14:05 講演「特許・商標を活用して売上アップ！～中小企業のための知財戦略入門講座～」
 第1部 特許活用編：講師 大谷 嘉一 氏（弁理士）
 第2部 商標活用編：講師 藤井 俊一 氏（日本弁理士会北陸支部 幹事）
 16:00 交流会
 17:00 閉会挨拶

参加者

27名

イベントの様子

最初に、北陸支部副支部長の小林陽一弁理士が挨拶を行い、中小企業の特許出願の現状、知財広め隊の趣旨や意義などの説明が併せて行われた。

第1部「特許活用編」では、大谷弁理士が開発段階から関わってこられた「ふしぎな調理器」の開発物語を特許出願と絡めてお話いただいた。調理器に関する一つのアイデアから始まり、調理器だけにとどまらず、その技術を応用した食パンなど新商品が次々に生まれ、多面的な特許保護がなされていることを説明された。これから知財戦略に取り組もうとされている中小企業の経営者にとって、非常に興味深い内容であったと思われる。

第2部「商標活用編」では、商標とはどういうものかといった基本的なことから、商標を出願・登録することで何ができるのか、昨今話題となっていたPPAPの商標のことまで、幅広く説明いただいた。商標の取得・活用を考えておられる中小企業の方にとって、大変有意義な内容であったと思われる。

交流会では、冒頭、共催の富山県発明協会より平野治親会長のご挨拶を頂いた。交流会には多数の地元の弁理士も参加し、参加者との交流や意見交換も活発に行われ、盛況のうちに終了した。



主催：日本弁理士会北陸支部、日本弁理士会

共催：（一社）富山県発明協会

後援：富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会、（大）富山大学

石川

<知財広め隊セミナー in 石川>

知財（特許・商標）を活用して地域起こしを

【開催日】平成30年3月2日（金）【場 所】七尾商工会議所

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 15:00 開会挨拶
15:05 講演「知的財産（特許・商標）を活用して地域おこしを」
講師：木森 有平 氏（日本弁理士会北陸支部 支部長）
15:30 パネルディスカッション「地域おこしの先人達」
パネリスト：杉原 省 氏（能登ふぐ事業協同組合 理事長）
鳥居 貞利 氏（花嫁のれん館 代表）
大黒 美憲 氏（能登町商工会 経営指導員）
木地 一夫 氏（丸越工業株式会社 代表取締役 社長）
コーディネーター：木森 有平 氏（日本弁理士会北陸支部 支部長）
17:00 座談会兼交流会
18:30 閉会挨拶

参加者

28名

イベントの様子

基調講演では、七尾や能登に関係する知財をからめて特許、商標制度についてわかりやすく説明された。

その後、地元パネリスト4名（地域おこしの先人達）によりパネルディスカッションが行われ、実際の苦労話や、役立つ点などを具体的に説明していただいた。

交流会には、講演参加者の8割以上の方に参加いただき、盛況な交流会となり、パネリストも含めて積極的な意見交換が行われた。

参加者には、地元にも商標・特許の活用事例があることを身近に感じられたのではないかと思います。



主催：日本弁理士会北陸支部、日本弁理士会
共催：七尾商工会議所
後援：七尾市、（一社）石川県発明協会、北國新聞社

福井

<知財広め隊セミナー in 福井>

「いちほまれ」の開発経過と特徴

【開催日】平成29年11月17日（金）【場 所】福井県中小企業産業大学校

プログラム

- 10:30 開会挨拶
 10:35 講演「『いちほまれ』の開発経過と特徴」
 講師：富田 桂 氏（福井県農業試験場 ポストコシヒカリ開発部長）
 11:35 講演「知財を活用した企業力アップ」
 講師：岡本 清一郎 氏（弁理士）
 12:00 交流会
 13:00 閉会挨拶

参加者

32名

イベントの様子

近年、コシヒカリに続くブランド米である「いちほまれ」が福井県で開発されたこともあり、本セミナーでは、「いちほまれ」の開発経緯や、「いちほまれ」に関連して、福井県の方々に知的財産権についてなじみを持っていただくことを目的に開催した。実際に、農家の方々や銀行の方といった普段知的財産に接する機会のない方々に多く参加いただくことができた。

講演①では、知的財産の解説を行うというよりは、コシヒカリが福井県で育成された経緯や、現在のブランド米やそのシェアの話に加え、コシヒカリに続く福井発のブランド米として「いちほまれ」の開発に至った経緯や開発における苦労などの話がなされた。また、「いちほまれ」の商標の説明もあり、聴衆に知的財産権の重要性への理解を促していた。

講演②では、岡本弁理士の経験に基づき、知的財産になじみのない方々に対して、知的財産の基本事項や知的財産の活用方法、活用事例などが分かりやすく解説された。

交流会では、弁理士が知財活動に関する経験談を披露し、参加者から質問等が活発に寄せられる等、知的財産に関する興味を高める機会となったようである。



主催：日本弁理士会北陸支部、日本弁理士会

後援：（一社）福井県発明協会

茨城

<知財広め隊セミナー in 茨城>

商品・サービスを支える知的財産権

【開催日】平成30年11月27日（火）【場 所】石岡商工会議所

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 16:00 講演「知的財産権の概略説明」
講師：山崎 晃弘 氏（日本弁理士会関東支部 副支部長）
16:45 講演「知的財産権の活用事例（商品、サービス）」
講師：丸林 啓介 氏（弁理士）
17:40 座談会・交流会
19:00 閉会

参加者

19名

イベントの様子

最初の講演では知的財産権制度のうち、特に特許制度、意匠制度、商標制度の概略について説明がなされ、次の講演で、事例に基づく知的財産権の活用方法、事例等について説明がなされた。これにより、セミナー参加者に、知的財産権の種類及びそれらの活用について理解を深めていただくとともに、各種場面での知財保護等と、弁理士との関わりについて知っていただくことができたと思う。

交流会では、茨城県で積極的に活動している複数の弁理士と参加者との交流を図るとともに、参加者が日々の業務の中で疑問に思っている点を直接、弁理士に投げかけていただけた。

これにより、弁理士の活用及び弁理士との関わりについても理解を深めてもらうことができたものと思われる。



主催：日本弁理士会関東支部、日本弁理士会

共催：石岡商工会議所

栃木

<知財広め隊セミナー in 栃木>

下町ロケットに学ぶ中小企業の知財・経営戦略

【開催日】平成30年3月2日（金）【場 所】ホテル東日本宇都宮

プログラム

16:00 講演「下町ロケットに学ぶ中小企業の知財・経営戦略」

講師：鮫島 正洋 氏（弁護士・弁理士）

18:00 座談会

20:00 閉会

参加者

60名

イベントの様子

講演の内容は、大変わかりやすく丁寧に説明され、特に、小説「下町ロケット」に登場する弁護士のモデルとなった鮫島氏の話は来場者の知的好奇心を刺激し、好評を博した。

座談会では業界を超えて盛んに交流が図られ、来場された一般のお客様方にも、有意義な時間を過ごせたものと思う。



主催：日本弁理士会関東支部、日本弁理士会

後援：栃木県、（公財）栃木県産業振興センター、（一社）栃木県発明協会、宇都宮商工会議所

群馬

＜知財広め隊セミナー in 群馬＞

セミナー「初めての特許入門編」/ パネルディスカッション「成功への道しるべ」

【開催日】平成29年7月21日（金）【場 所】桐生市市民文化会館会議研修室

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

14:00 講演「初めての特許入門編」

講師：羽鳥 亘 氏（日本弁理士会中小企業支援統括本部 副本部長）

15:10 パネルディスカッション「成功への道しるべ」

～地域産業の活かし方、その発想と取り組み～群馬県内の繊維産業を活用した実例から学ぶ

パネリスト：篠田 一 氏（丸中株式会社 代表取締役）

中村 敬 氏（群馬県繊維工業試験場 場長）

山本 博一 氏（桐生大学短期大学部アート・デザイン学科 准教授）

コーディネーター：前原 久美 氏（日本弁理士会関東支部 群馬委員会）

17:00 座談会

19:00 閉会

参加者

33名

イベントの様子

第1部の講演「初めての特許入門編」では、日本弁理士会が作成した「社長初めての特許」に関するDVDを使用し、特許侵害入門・助成金制度等について初心者向けに易しく解説した。企業知財部、学校の先生等、様々な参加者がいたが、クイズの正解率も高く、セミナーの内容と参加者のレベルとが丁度一致しているように感じた。

第2部のパネルディスカッションでは、実際に、桐生の織物産業を活用してビジネス展開されている篠田社長を中心に、その技術面をサポートする中村場長や工業デザインの観点から山本先生の皆様から日頃のご経験談を交えながら討論して頂き、参加者の方々も非常に興味深くその話を聞いていた。

座談会では、活発な意見交換がなされ、地域の弁理士と参加者との良い交流の場になったものと思われる。



主催：日本弁理士会関東支部

共催：日本弁理士会

後援：群馬県、（一社）群馬県発明協会、桐生商工会議所、北関東産官学研究会

埼玉

<知財広め隊セミナー in 埼玉>

知らずに貯まった企業の財産 気付いて増やす知恵講座

【開催日】平成29年9月22日（金）【場所】新都心ビジネス交流プラザ

プログラム

14:30 パネルディスカッション

「知らずに貯まった企業の財産 気付いて増やす知恵講座」

講師：野口 満 氏（埼玉県よろず支援拠点 コーディネーター）

大澤 忠行 氏（埼玉県産業振興公社 知的財産アドバイザー）

漆山 誠一 氏（弁理士）

金尾 良子 氏（弁理士）

原田 忠則 氏（弁理士） / （兼パネル・コーディネーション）

16:30 懇談会

16:30 知的財産無料相談会

18:00 閉会

参加者

31名

イベントの様子

パネルディスカッションではまず、埼玉に拠点を持つ専門家4名が、中小企業支援の中で受ける相談に対し、それぞれどのような視点で解決していくのかを説明した。

その後、参加者はグループに分かれ、老舗をモデルに、どのような財産が埋まっているのかを検討した。

最後に、登壇した4名がこのモデル事例についてどのような視点でアプローチするのかを説明した。これら一連のプログラムを通じて、専門家の着目点はどこにあるのか、どこに相談に行けば問題を発見・整理できるのか、またどのようにその解決をしていくのかを明らかにしていった。

セミナー後には、参加者と弁理士とが情報交換をする懇談会も行われ、盛況のうちに幕を閉じた。



主催：日本弁理士会関東支部

後援：関東経済産業局、埼玉県、（公財）埼玉県産業振興公社、さいたま商工会議所

千葉

<知財広め隊セミナー in 千葉>

特許公開情報から読み取る ライバルの特許・技術戦略

【開催日】平成30年9月14日（金）【場 所】ベンチャープラザ船橋

プログラム

- 15:00 講演1「ライバルの特許公報から把握する 技術・特許の動向」
講師：八木田 智 氏（弁理士）
- 15:45 講演2「J-PlatPat の使い方」
講師：坂元 祥郎 氏（（公財）千葉県産業振興センター 知財戦略プロデューサー）
- 16:15 講演3「他社の例から見る「出願する技術」「出願しない技術」」
講師：田久保 泰夫 氏（弁理士 / 中小企業診断士）
- 17:10 交流会
- 19:00 閉会

参加者

31名

イベントの様子

テーマが良かったのか、多くの参加者が熱心に講演を聞いていた。

講演1では知財情報の内容や特許マップの内容が紹介され、講演2では知財情報を得るためのJ-PlatPatの具体的な操作方法を説明し、講演3では知財の経営への活かし方を説明するという、流れを意識した講演がなされた。

交流会では、多くの参加者と弁理士が交流することができ、参加者の会社の知財事情等についても話をする機会があったため、非常に有意義な時間となった。

セミナーだけでは講師と参加者が交流を深めることは殆どできないため、セミナーと交流会がセットになって行われる知財広め隊事業は参加者の方にも満足していただけたのではないかと思います。



東京

<知財広め隊セミナー in 東京>

ヒット商品を企画しよう！ 弁理士直伝！ はじめての『差別化戦略』ワークショップ
～売れる商品は「差別化」が9割！～

【開催日】平成29年9月8日（金）【場 所】弁理士会館

プログラム

- 14:00 講演「差別化戦略・基本の『キ』 ～商品企画の4つの視点～」
講師：山田 龍也 氏（弁理士）
15:00 ワークショップ「新商品企画会議」
講師：丸林 啓介 氏（弁理士）
16:30 座談会

参加者

17名

イベントの様子

第一部の講演は分かりやすいと受講者に好評であった。

ワークショップの新商品企画会議では各グループからユニークな商品企画が提案され、盛り上がっていた。

座談会では個別の相談を持ちかける参加者もいて、弁理士に対して親近感をもってもらえたように思われる。



主 催：日本弁理士会関東支部

東京

<知財広め隊セミナー in 東京>

クラウドファンディングで成功企業への初めの一歩
～円滑な資金調達と知財保護のポイント～

【開催日】平成30年11月12日(月)【場所】弁理士会館

- プログラム**
- 13:00 講演「CF成功後の事業継続例、成長企業例」
講師：青井 一暁 氏 (Kibidango)
井口 恵 氏 (Kanatta)
高野 耀子 氏 (A-port)
草原 敦夫 氏 (Ready for)
 - 15:10 講演「CFの先を見据えた事業計画、知財保護」
講師：大野 修平 氏 (公認会計士)
乙部 孝 氏 (弁理士)
 - 16:10 交流会 (無料相談会)
 - 17:00 閉会

参加者 44名

イベントの様子 第1部のCF事業者、4社の特色ある発表では各CF事業者が重複を避けて発表していたため、分かりやすかった。

第2部では、第一部の全体像を公認会計士および弁理士の立場から要領よく説明され、聴衆が幾度となくうなずく姿があり、セミナーは大変有意義であったことが見て取れた。

第3部の交流会でも多くの方が残られた。講師陣をつかまえ、熱心に質問等されていたのが印象的であった。



神奈川

<知財広め隊セミナー in 神奈川>

ビジネスファーストに知財を！

【開催日】平成29年11月15日（水）【場 所】相模原市立産業会館大研修室

プログラム

13:00 ビジネスファーストに知財を！～講演（特許・商標を中心として）～

講師：岩崎 孝治 氏（弁理士）

岩崎 良子 氏（弁理士）

15:30 座談会

17:30 閉会

参加者

21名

イベントの様子

第1部では、地元からの要望を踏まえての「事例に基づいた知財の話からの紐解き」として、中小企業に有益な知的財産の活用についてわかり易く解説された。

第2部の座談会では、参加者と弁理士とのフリーディスカッションによる交流が図られ、非常に盛り上がった。



主催：日本弁理士会関東支部

後援：相模原市、相模原商工会議所、（公財）相模原市産業振興財団

神奈川

<知財広め隊セミナー in 神奈川>

いいね！を集めて信用の商標をつくろう

【開催日】平成30年11月7日（水）【場 所】海老名市商工会館

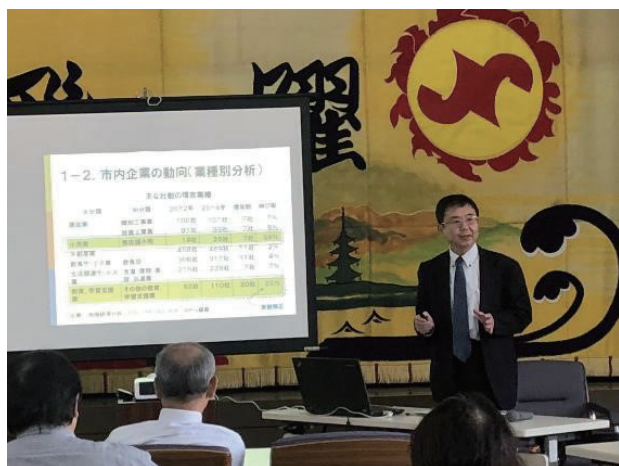
- プログラム**
- 13:30 講演「いいね！を集めて信用の商標をつくろう」
講師：能條 佑敬 氏（弁理士）
 - 15:00 講演「データで見る海老名での商標活用状況」
講師：山本 一郎 氏（弁理士）
 - 15:40 懇話会
 - 16:30 閉会

参加者 23名

イベントの様子

講演では、商標の効果的な使い方を説明するとともに、弁理士の役割についての説明がなされた。また、公開されているデータを用いて、海老名が変化している状況や商標の活用状況について紹介された。

懇話会では商標のデザインや商標の周知性などについて、参加者と講師との間で活発な質疑応答が交わされた。



主催：日本弁理士会関東支部

後援：海老名市、海老名商工会議所

山梨

<知財広め隊セミナー in 山梨>

資金調達手段及びマーケティング手段としてのクラウドファンディングと弁理士の役割

【開催日】平成30年10月19日（金）【場 所】やまなしプラザ

プログラム

- 15:00 講演「クラウドファンディングとFAAVO やまなしの取り組み」
講師：澤 伸恭 氏（山梨大学地域未来創造センター 特任教授）
講演「クラウドファンディングと知財」
講師：潮崎 宗 氏（弁理士）
- 17:15 交流会・相談会
- 19:00 閉会

参加者

26名

イベントの様子

第一部では、クラウドファンディングの仕組みとともに、山梨県内での具体的な活用事例が紹介された。また、第二部では、クラウドファンディングを活用する際の知財リスク等の説明がなされた。

資金調達は、中小企業、ベンチャー企業にとって重要な経営課題であり、資金調達の側面を備えたクラウドファンディングの仕組み、留意点を具体的事例を通じて分かり易く説明され、セミナー参加者に一つの方角性を示すことができたと思う。また、知財の側面からクラウドファンディングを考察することで、知財（弁理士）をより身近なものとして提案できたと思う。



主催：日本弁理士会関東支部
共催：（一社）山梨県発明協会
後援：（公財）やまなし産業支援機構、甲府商工会議所

長野

知財広め隊セミナー in 長野

～信州発～特許・商標を活用成功した企業になろう

【開催日】平成30年7月27日（金）【場 所】ホテルメトロポリタン長野

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 14:10 講演「わが社の知財戦略～特許・意匠・商標は夢を叶える素敵なツール～」
講師：白鳥 敬日瑚 氏（マイクロストーン株式会社 代表取締役社長）
- 15:20 講演「知財で成功するためには～知的財産アドバイザー及び企業経験の視点から～」
講師：久保 順一 氏（長野県知財総合支援窓口 知的財産アドバイザー）
- 16:10 パネルディスカッション「今でしょ！ 知的財産に目を向けるのは」
パネリスト：白鳥 敬日瑚 氏（マイクロストーン株式会社 代表取締役社長）
久保 順一 氏（長野県知財総合支援窓口 知的財産アドバイザー）
小平 晋 氏（弁理士）
モデレーター：奥田 誠 氏（日本弁理士会東海支部 副支部長）
- 17:00 交流会
- 18:30 閉会

参加者

88名

イベントの様子

開会にあたり、まず日本弁理士会東海支部の井上支部長及び長野県産業労働部ものづくり振興課の沖沢課長より挨拶がなされた。

第1部では、白鳥氏が、知財は自社がやりたいことをやれるようにするツールであることをご自身の経験を基にして話しておられ、参考になられた方も多かったように思う。また、自社で開発した歩行検査装置の実演もあり、聴講者にとって有意義な講演であった。

第2部では、久保氏の企業及びアドバイザーとしての経験に基づいて、知財の活用例をお話していただいた。企業担当者及び弁理士としても参考になったものと思う。

第3部のパネルディスカッションでは、各パネリストが成功例は勿論のこと、失敗例も話された。失敗例は、殆ど聞くことがないので聴講者の参考になったものと思われる。

交流会では、当日の出席者による活発な交流が行われていた。特に、金融機関の担当者も多く参加していただき、企業担当者や弁理士との交流がなされた。



主催：日本弁理士会東海支部、長野県、（一社）長野県発明協会

後援：（公財）長野県中小企業振興センター、（公財）長野県テクノ財団、（一社）長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、（株）八十二銀行、（株）長野銀行、長野信用金庫、上田信用金庫、松本信用金庫、諏訪信用金庫、飯田信用金庫、アルプス中央信用金庫、長野県信用組合、（株）長野県商工新聞社、長野県中小企業家同友会

岐阜

<知財広め隊セミナー in 岐阜>

知財先進県「岐阜」を目指して

【開催日】平成30年8月24日（金）【場 所】岐阜商工会議所 5階議員総会室

プログラム

- 14:30 講演「地域金融機関における事業性評価に基づく融資と知的財産の活用」
講師：長田 剛司 氏（十六銀行企業支援部 融資企画グループ 課長）
- 15:00 講演「日本弁理士会による中小企業支援事業」
講師：大矢 広文 氏（弁理士）
- 15:40 講演「空港・機内用非金属車いす『モルフ』開発の経緯」
講師：松永 紀之 氏（株式会社松永製作所 代表取締役社長）
高橋 秀典 氏（同 開発部）
- 17:00 交流会
- 19:00 閉会

参加者

57名

イベントの様子

セミナーには、個人事業主、企業経営者、企業担当者など、57名の方が参加され、参加者は熱心に講義に耳を傾けていた。

第1部では、地域金融機関による融資への取り組みについて説明をいただいた。地域金融機関は、従来のような資金供給のためだけの融資をするのではなく、企業の事業性「理解」を重視し、企業に対して提案・支援を同時に行う「事業性評価に基づく融資」に取り組んでいるとのこと、今後、事業性評価において、企業が保有する「知的財産」を積極的に活用すべく、我々弁理士などの専門家との連携をより一層深めていくとの説明がなされた。

第2部では、特許の事例を具体的に挙げつつ、一般の方向けに弁理士や知的財産の概要について分かり易く説明された。また、日本弁理士会東海支部の活動として、知財経営サロン、無料相談会、知財キャラバンの紹介が行われた。

第3部では、新開発の空港・機内用の車いすについてご紹介をいただいた。（株）松永製作所は、従業員200人足らずの岐阜県養老郡の中小企業であるが、車いすの業界トップシェアを誇っている。同社の車椅子は、テレビドラマ、映画、障がい者スポーツにも採用されているそうで、今回、ご紹介いただいた車いす「モルフ」は、車いすを完全に樹脂化することで空港の金属探知ゲートでの接触検査を不要とするものである。参加者の方は、実際に「モルフ」に手を触れて楽しんでいった。また、（株）松永製作所の社長には、同社の知財活動への取り組みについて、裏話などを含めて大変面白いお話を伺うことができた。参加者の方も大変興味をもって聞いていた。



交流会も参加者や弁理士とで活発な意見交換が行われ、盛況のうちに終了した。

主催：日本弁理士会、日本弁理士会東海支部、岐阜商工会議所

共催：岐阜商工会議所

後援：岐阜県、（公財）岐阜県産業経済振興センター、（一社）岐阜県発明協会

静岡

<知財広め隊セミナー in 静岡>

開放特許活用で企業のさらなる発展を目指す

【開催日】平成30年2月2日(金)【場所】クリスタルホールパテオン

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 13:00 開会挨拶
須藤 秀忠 氏(富士宮市長)
河原崎 信幸 氏(富士宮商工会議所 会頭)
渡邊 敬介 氏(日本弁理士会 会長)
- 13:20 講演「開放特許の活用はビジネスを発展させるチャンスです！」
講師: 富澤 正 氏(弁理士)
- 15:00 シンポジウム「富士宮市知的財産交流会～大企業3社(キューピー株式会社、ポリプラスチックス株式会社、富士通株式会社)によるシーズ(開放特許)プレゼンテーション及び個別マッチング～」
- 17:00 交流会
- 19:00 閉会挨拶

参加者

87名

イベントの様子

第1部のセレモニーでは、富士宮市の須藤市長、富士宮商工会議所の河原崎会頭、日本弁理士会の渡邊会長よりそれぞれ挨拶があった。皆様それぞれのお立場から10年を振り返っておられた。

第2部の講演では、数多くの事例を挙げながら臨場感のあるお話がなされ、事例の多くは富澤弁理士本人が携わっているものであり実感がこもっていた。企業担当者は勿論のこと弁理士にとっても有意義な内容であった。

第3部のシンポジウムでは、キューピー株式会社、ポリプラスチックス株式会社、富士通株式会社様より、開放特許に関連したシーズ・プレゼンテーションが行われた。時間の関係で限られた内容であったが、開放特許の活用に向けての大きな一歩であったと感じた。

第4部の交流会では、当日の出席者による活発な交流が行われていた。富士宮市の担当者とお話をする機会もあり、その際、知的財産支援協定を締結したこの10年間の成果、今後の課題について聞くことができた。課題は販路の確保・拡大とのこと。知財の取得をいかにして利益に結び付けられるか、といったことであろうか。今後も知的財産支援協定を益々有意義なものにしていきたいと思う。



愛知

＜知財広め隊セミナー in 愛知＞

「知財経営サロン、弁理士知財キャラバンの活用法」と「企業の健康診断～ローカルベンチマークの活用」

【開催日】平成29年7月20日（木）【場 所】名古屋商工会議所

プログラム

17:00 講演「知財経営サロン、弁理士知財キャラバンの活用法」

講師：加藤 光宏 氏（弁理士・弁護士）

講演：「企業の健康診断～ローカルベンチマークの活用」

講師：池原 敏郎 氏（中小企業診断士）

18:30 異業種交流会

20:00 閉会

参加者

79名

イベントの様子

「知財経営サロン、弁理士知財キャラバンの活用法」というテーマで、東海支部知的財産支援委員会委員長の加藤弁理士が講義を行った。次に、「企業の健康診断～ローカルベンチマークの活用」というテーマで、中小企業診断士の池原敏郎氏にご講演いただいた。受講者には、概ね関心を持って聞いていただけたようである。

異業種交流会は非常に盛況であった。参加者の中には、金融機関の担当者も多数参加しており、これらの方から、知的財産関係者との懇親を図る機会が得られたことを好ましく思っている旨のコメントを頂戴した。参加者は有意義な時間を過ごしてもらえたものと思われる。



三重

<知財広め隊セミナー in 三重>

知的財産を活用して企業・地域を活性化させ地方創生する

【開催日】平成30年2月16日（金）【場 所】プラザ洞津

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 14:05 講演「カメラ用蛇腹からソーラーパネルへ～継続企業を目指して～」
 講師：永井 規夫 氏（株式会社ナベル 代表取締役社長）
 講演「特許を活用してじばさんを発展させる」
 講師：辻 保彦 氏（辻製油株式会社 代表取締役会長）
 パネルディスカッション「知的財産により地方創生するには～成功事例からマナブ」
 パネリスト：永井 規夫 氏（株式会社ナベル 代表取締役社長）
 辻 保彦 氏（辻製油株式会社 代表取締役会長）
 世良 清 氏（三重県立津商業高等学校 教諭）
 植松 康夫 氏（富士宮市産業振興部商工振興課 課長）
 モデレーター：前田 大輔 氏（日本弁理士会 執行理事）
- 17:00 交流会
 19:00 閉会

参加者

53名

イベントの様子

本セミナーは伊勢新聞社と共催して実施した。共催効果や講演内容も効を奏して、予約申込み段階で定員50名を突破し、例年になく盛況であった。

第1部、第2部はともに、特許庁「知財功労賞」を受賞した企業経営者の講演で、これまでとは違う経営者から見た新鮮な内容さらに語り口も説得力があり、魅力ある講演となった。企業経営の立場から、経験談を交えて知財に取り組むうえでの生きたヒントをいくつも抽出、提供していただいた。参加企業の今後の知財活用に役立つものになったと思われる。

第3部は、「地方を創生する」ために、知的財産とからめて企業、行政、教育機関の各パネリストからそれぞれの立場から提案があった。討論された内容は、参加者に地方の創生にまだまだ解決策があることを思い抱かせ、短い時間ながらも要領よく、充実していた。

セミナー終了後に開催した交流会にはセミナーを含めて、これまで参加がなかった証券会社や複数の銀行等からの出席があり、知財金融の関心の高まりを感じた。各所で有益な議論が交わされており、銀行、証券会社等を通じての知財活用の広がりも、今後期待できる有意義なセミナーになったと考える。



主催：日本弁理士会東海支部、伊勢新聞社

後援：中部経済産業局、三重県、津市、（公財）三重県産業支援センター、三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会、（一社）三重県発明協会

滋賀

<知財広め隊セミナー in 滋賀>

すぐに役立つ！中小企業知財法務の全て～知財契約と著作権を中心に～

【開催日】平成30年10月6日（土）【場 所】コラボしが21

プログラム

- 14:00 講演「すぐに役立つ！中小企業知財法務の全て～知財契約と著作権を中心に～」
講師：樋口 真也 氏（弁護士・弁理士）
- 16:45 交流会
- 18:00 閉会

参加者

54名

イベントの様子

講演では、諸契約や著作権譲渡における留意点等が身近な事例に沿った内容で説明され、知財に詳しくない受講者にとっても判りやすく、知財実務においてすぐに経験しそうな内容であった。中小企業の受講者に法務の重要性を理解していただけたと思う。

交流会では、参加者が日頃持っている疑問や意見を弁理士に忌憚なくお話しいただけたものと思われる。参加者からは、知財に興味がある、知財を活かして事業で成果を挙げたい、といった意見をお持ちの方が多いはもちろんであるが、その一方で、具体的に社内の業務としてどのようなことから取り組みばよいのか分からない、経営者層に知財の重要性をアピールするにはどうすればよいのか分からない、といったご相談も頂戴した。今後、知的財産制度の普及活動にとどまらず、そのような方々に向けた支援活動を行っていったらよいのではないかと感じた。



主催：日本弁理士会近畿支部

後援：近畿経済産業局、（独）工業所有権情報・研修館 近畿統括本部、中小機構 近畿、大津商工会議所、京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所、奈良商工会議所、和歌山商工会議所、（一社）滋賀県発明協会、（一社）京都発明協会（一社）大阪発明協会、（一社）兵庫県発明協会、（一社）奈良県発明協会、（一社）和歌山県発明協会

京都

＜知財広め隊セミナー in 京都＞

中小企業における知財戦略コンサルティングの活用法と成功例

【開催日】平成30年11月3日（土）【場 所】京都リサーチパーク

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム 14:00 講演「中小企業における知財戦略コンサルティングの活用法と成功例」
講師：西原 広徳 氏（弁理士）
16:45 交流会
18:00 閉会

参加者 48名

イベントの様子 本セミナーでは、知財戦略コンサルティングを「知財」、「戦略」、「コンサルティング」の3つに分け、それぞれの解説を通して、知財戦略コンサルティングの活用法を学ぶことができるものであった。

「知財」では、知的財産権にはどのような種類があるかといった基本的な説明から始まり、知的財産権を取得する目的について説明いただいた。

「戦略」では、知財戦略だけを考えるのではなく、事業戦略－開発戦略－知財戦略を総合した三位一体の戦略を考える重要性について説明いただいた。

「コンサルティング」では、知財戦略コンサルティングのメリットは何か、開発のどの段階で弁理士による知財戦略コンサルティングを受けるのが有効であるのか、等について説明いただいた。

最後に、講師の実体験を基に、知財戦略コンサルティングの成功例の紹介がなされた。講演内容は非常に具体的で分かりやすく、多くの受講者の方のヒントとなったものと思われる。

交流会には、中小企業の経営者や知的財産担当者、大手メーカーの開発者、中小企業支援機関の関係者等、多彩なメンバーが参加された。参加者のバックボーンによって話題は異なっていたが、個々の参加者のお話をじっくり伺うことができた。今まで弁理士とじっくり話したことがない参加者が大半であり、今回の交流会をきっかけに、知的財産の有用性をより一層認識いただけたように思う。



主催：日本弁理士会近畿支部

後援：近畿経済産業局、（独）工業所有権情報・研修館 近畿統括本部、中小機構 近畿、大津商工会議所、京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所、奈良商工会議所、和歌山商工会議所、（一社）滋賀県発明協会、（一社）京都発明協会（一社）大阪発明協会、（一社）兵庫県発明協会、（一社）奈良県発明協会、（一社）和歌山県発明協会

大阪

<知財広め隊セミナー in 大阪>

自社に眠っている知財を発掘し事業に活用しよう

【開催日】平成30年11月6日(火)【場所】日本弁理士会近畿支部

プログラム

- 10:30 開会挨拶
 10:35 講演1「商品開発の実例を挙げて考える知財活用の入門」
 講師：西村 伸也 氏（弁理士）
 13:05 講演2「特許調査とその活用入門講座」
 講師：宮川 裕三 氏（弁理士）
 14:45 講演3「特許と意匠の使い分けと併用で新商品を守ろう」
 講師：萩森 学 氏（弁理士）
 16:40 交流会
 18:00 閉会

参加者

33名

イベントの様子

講演1は、高砂染を事例として取り上げ、どのような知財（特許権・意匠権・ノウハウ・著作権・商標権）で、高砂染を再興し守っていくかを考えてきた開発過程を分かりやすく説明していた。アンケート結果を見ると、ブランド確立による権利確保の考え方が分かりやすかったとのコメントもあり、参考になったのではないと思われる。

講演2は、調査（特許・意匠・商標）の種類及び意義について説明し、J-PlatPat を使用して実演しながら調査のやり方について分かりやすく説明していた。アンケート結果を見ると、実演があったことで理解しやすかったとのコメントもあり、参考になったのではないと思われる。

講演3は、特許と意匠の制度比較、意匠の出願形態（部分意匠、関連意匠等）を説明し、特許権と意匠権とを併用している事例、意匠権で技術を保護している事例を分かりやすく説明していた。アンケート結果を見ると、意匠について色々知れて良かったとのコメントがあり、参考になったのではないと思われる。

全体として、各講座とも具体例や実演を交えた説明だったため、受講者にとって分かりやすく、受講者の評価は概ね良好であった。

交流会では、個々人が直面している知財に関する悩みについて個別にお聞きすることができた。弁理士も多数参加していたため、参加者はひとりの弁理士の意見だけでなく、複数の弁理士の意見を聞くこともできたようで、有意義な時間を過ごされたと思われる。



主催：日本弁理士会近畿支部

後援：近畿経済産業局、INPI T近畿統括本部、中小機構 近畿

兵庫

<知財広め隊セミナー in 兵庫>

地域にある知財を活用して地域を活性化しよう

【開催日】平成30年1月25日（木）【場 所】養父公民館

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 13:30 開会挨拶
- 13:35 講演1「儲かる農業に必要な知財とは」
講師：上西 敏文 氏（弁理士）
- 14:30 講演2「地域ブランドを創り出し守っていく商標権」
講師：萩森 学 氏（弁理士）
- 15:30 交流会
- 16:30 閉会挨拶

参加者

27名

イベントの様子

講演1では、農業関係者に知財を身近に感じてもらうために、農業に関する特許や意匠といった事例を上げ、分かりやすく説明がなされた。参加者も熱心に聞いておられ、知財を考えるきっかけにはなったと思われる。

講演2では、商標権の内容や出願手続きについて上手く説明され、皆さん退屈することなく熱心に聞き入っていた。商標の内容及び手続については、参加者に十分理解していただけたのではないと思われる。

交流会では、広報物として配布した「弁理士知財キャラバン」に興味を持たれた参加者からの質疑応答や商標出願を検討しているが相談先が分からず今回の交流会で弁理士と話す機会を得られてよかったとの声を頂戴した。弁理士と接する機会がない方が多く、今回をきっかけに弁理士ならびに知的財産を身近に感じていただけたのではないと思う。



主催：養父市

共催：日本弁理士会

奈良

<知財広め隊セミナー in 奈良>

「目から鱗」の実用新案！～中小企業・大企業を問わず、実用新案を有効に活用する～

【開催日】平成29年10月7日（土）【場 所】やまと会議室

プログラム

- 14:00 講演「目から鱗」の実用新案！～中小企業・大企業を問わず、実用新案を有効に活用する～
講師：五郎丸 正巳 氏（弁理士）
17:00 交流会
18:00 閉会

参加者

33名

イベントの様子

講演では、実用新案制度の概要を特許制度と比較しながら実用新案制度のメリット・デメリット、実用新案の間違った認識・慣行があることの説明から実用新案技術評価書、権利行使、過失の推定、損害賠償責任について、原則と、実際の裁判例についても触れ、特許で出すのか、実用新案で出すのかの判断基準、実用新案の改正試案までも説明があった。

なお、講義の中でいくつかの実用新案制度に関するクイズがあり、それに参加者が回答を行い、実用新案制度をあまり利用していないためか、考えさせられる問題が多くあり、記憶に残る講義であった。

今回のセミナーが、参加された方の知財業務の一助になってくれることを期待したい。



主催：日本弁理士会近畿支部

後援：近畿経済産業局、中小機構 近畿、大津商工会議所、京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所、姫路商工会議所、奈良商工会議所、和歌山商工会議所、（一社）滋賀県発明協会、（一社）京都発明協会、（一社）大阪発明協会、（一社）兵庫県発明協会、（一社）奈良県発明協会、（一社）和歌山県発明協会

和歌山

<知財広め隊セミナー in 和歌山>

中小企業における海外での知的財産権～登録方法や費用支援について～

【開催日】平成29年10月7日(土)【場所】和歌山商工会議所

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

- プログラム**
- 14:00 講演「中小企業における海外での知的財産権～登録方法や費用支援について～」
講師：岡田 充浩 氏（弁理士）
 - 17:00 交流会
 - 18:00 閉会

参加者 16名

イベントの様子 講演では、岡田弁理士より、海外での知的財産権取得に関して、基礎知識やコスト面について講演を行っていただいた。また、交流会では、参加者と弁理士とが積極的に対話できる場を設けることができたと思われる。

交流会での話題は、海外での知的財産権についてのセミナー内容を受けて、海外からの模倣品流入の阻止に関する事柄や、海外で営業を展開する上での必要な製品保護に関する事柄などが多かったようである。

セミナー後に交流会を行うことで参加者のご意見を広くお聞きすることができ、有意義であったと思われる。



主催：日本弁理士会近畿支部

後援：近畿経済産業局、中小機構 近畿、大津商工会議所、京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所、姫路商工会議所、奈良商工会議所、和歌山商工会議所、(一社)滋賀県発明協会、(一社)京都発明協会、(一社)大阪発明協会、(一社)兵庫県発明協会、(一社)奈良県発明協会、(一社)和歌山県発明協会

鳥取

＜知財広め隊セミナー in 米子＞

宝は足元に、農産物食品ブランドは、こうやって作ってごしない！

【開催日】平成30年10月26日（金）【場 所】米子コンベンションセンター

プログラム

- 13:30 開会挨拶
 13:40 講演「宝は足元に、農産物食品ブランドは、こうやって作ってごしない！」
 講師：木戸 基文 氏（弁理士）
 14:35 講演「『PAT やって見た』ら『もうけの花道』に」
 講師：中西 康裕 氏（日本弁理士会中国支部 副支部長）
 14:50 講演「知って得する知財施策の紹介」
 講師：清棲 保美 氏（中国経済産業局 知的財産室長）
 15:00 講演「INPIT 鳥取県知財総合支援窓口紹介」
 講師：澤田 宏二 氏（鳥取県知的所有権センター）
 15:10 講師や地元の弁理士との座談会
 16:00 閉会挨拶

参加者

38名

イベントの様子

最初の講演では、農産品を中心に具体的な事例を示して、ちょっとした工夫で身の回りの商品が売れる商品に変えられること、ブランドを守るためにネーミングとその保護（知的財産）の重要性についての説明があり、参加者は熱心に聞き入っていた。また、事前に質問のあった種子法廃止についても解説された。

次に、日本弁理士会が制作した映像コンテンツ「PAT やって見た」及び中国経済産業局のコンテンツ「もうけの花道」を上映して知財の成功事例と失敗例が紹介された。

座談会では、1～2名の参加者に対して1名の弁理士が対応し、個々の相談に対してアドバイスを行った。1グループが少人数であったため、参加者が話しやすい雰囲気を作ることができた。

農産品のブランド化とその保護という農業関係者にとって関心の高い分野について分かりやすく講義され、参加者にとっても役立つ内容であったと思われる。



主催：日本弁理士会中国支部、日本弁理士会

共催：中国地域知的財産戦略本部

後援：鳥取県、米子商工会議所、境港商工会議所、（公財）鳥取県産業振興機構、（一社）鳥取県発明協会

島根

<知財広め隊セミナー in 島根>

会って聞いちゃおう！ブランド&アイデア活用法

【開催日】平成30年7月26日（木）【場 所】島根県立産業交流会館（くにびきメッセ）

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 13:30 開会挨拶
- 13:40 講演「知っておきたいブランド戦略」
講師：高部 真規子 氏（知的財産高等裁判所長）
講演「知財で島根をもっと元気に」
講師：今村 玲英子 氏（特許庁審判部長）
- 14:50 パネルディスカッション
講演「島根の知財四方山ばなし 地元弁理士が思ったあれこれ」
講師：田辺 義博 氏（弁理士）
ディスカッション「島根におけるブランド&アイデア活用」
パネリスト：石飛 龍一 氏（株式会社研電社 代表取締役）
角 幸治 氏（株式会社玉造温泉まちデコ 代表取締役）
佐藤 淳一 氏（（公財）しまね産業振興財団、
島根県よろず支援拠点チーフコーディネーター）
モデレーター：河野 生吾 氏（日本弁理士会中国支部 副支部長）
田辺 義博 氏（弁理士）
- 16:30 交流会「会って聞いちゃおう！ブランド&アイデア活用法」
＜事業者ブースによる各機関PR＞
ブース出展機関：日本弁理士会、島根県、（一社）島根県発明協会、
（株）玉造温泉まちデコ、中国電力（株）エネルギー総合研究所、
富士通（株）、島根県酒造組合、不昧公200年記念事業推進委員会事務局
- 18:00 閉会挨拶

参加者

222名

イベントの様子

第1部の記念講演「知っておきたいブランド戦略」では、知的財産高等裁判所及び管轄する知的財産の紹介に始まり、ブランド戦略を実行する上で基礎となる商標権の保護対象や効力、更には商標が登録できないケースなど、実際の訴訟事件に関わる立場から、具体例を挙げて分かりやすく解説された。また、地域団体商標については、島根県の登録例や他県で登録できなかった事例など、ブランド戦略を推進しようとする地元関係者にとって有益な情報が提供された。

次の記念講演「知財で島根をもっと元気に」では、特許庁及び産業財産権について概要説明された後、近年の我が国の出願件数は横這い傾向であるが中小企業の出願件数は伸びていることや、特許権を所有する中小企業の営業利益率は大企業よりも高いことが紹介された。更に、侵害事件で訴えられた経験を糧に権利取得・活用を推進している企業の話など、規模の大小を問わず企業にとって知的財産の取得・活用が重要であることを改めて認識させられる内容であった。

第2部の基調講演「島根の知財四方山ばなし 地元弁理士が思ったあれこれ」では、地元島根県で活動する弁理士の立場から、青色ダイオード特許における発明対価の話題や、島根ブランドを活用するための地域団体商標取得の提案、島根でしか取れないノーベル賞といったユニークな提案、更には過去に携わった印象深い特許出願の話など、多面的な観点から知的財産に関する興味深いトピックや、知的財産を取得・活用するための有益なヒントが提供された。

ディスカッション「島根におけるブランド&アイデア活用」では、ブランド・アイデアを知財として活用している地元企業及び地元支援機関からパネリストを迎え、弁理士がモデレーターを務め、知的財産の活用についてディスカッションが行われた。パネリストからは、模倣品の販売を抑えるための対策や、商標権取得後の商品PRの方法など、教科書に載らないような実際の知的財産の活用事例が披露された。

第3部の交流会「会って聞いちゃおう！ブランド&アイデア活用法」では、ブースを出展した各事業者の事業紹介がなされた後、参加者は立食形式で自由にブースを回りつつ他の参加者と交流し、活発な情報交換・意見交換が行われた。各ブースでは、出展事業者の説明に熱心に耳を傾ける参加者の姿が見られたとともに、島根県酒造組合より地酒、松江市より和菓子の提供があり、島根ブランドを体感することができ好評であった。



主催：日本弁理士会、日本弁理士会中国支部

共催：島根県

後援：特許庁、中国経済産業局、(公財)しまね産業振興財団、日本商工会議所、島根県商工会議所連合会、松江商工会議所、島根県商工会連合会、(一社)島根県発明協会、(大)島根大学、(独)国立高等専門学校機構松江工業高等専門学校、(株)山陰合同銀行、中国電力株式会社エネルギア総合研究所

岡山

<知財広め隊セミナー in 岡山>

「PATやってみた」ら「もうけの花道」に～事業の落とし穴を避ける知恵～

【開催日】平成30年3月23日（金）【場 所】津山市地域交流センター

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 16:00 開会挨拶
- 16:05 講演「PATやってみた」ら「もうけの花道」に
講師：伊藤 俊一郎 氏（弁理士）
- 17:00 弁理士知財キャラバンの紹介
森 寿夫 氏（日本弁理士会中国支部 支部長）
- 17:10 知って得する知財施策の紹介
鎌田 雄志 氏（中国経済産業局 知的財産室）
- 17:20 地域の弁理士との座談会「知財ってこんな感じ」
- 18:00 閉会挨拶

参加者

17名

イベントの様子

本セミナーは、岡山県津山市が中心となり、地域の産業人材の育成、就業支援、生涯学習支援等を目的として社会人等に対して多様なプログラムを提供している「津山まちなかカレッジ」の講座の一つとして開催した。

セミナーでは、日本弁理士会が制作・公開している動画コンテンツ「PATやってみた」と、中国経済産業局が制作・公開している動画コンテンツ「もうけの花道」と「もうけの落とし穴」を引用しながら、特許・実用新案・意匠・商標による保護事例や、不正競争防止法事件の具体例を挙げて知的財産権の概要について説明した。

弁理士知財キャラバンの紹介では、コンサルティング訪問事業の概要や、弁理士による知財コンサル例を紹介して、応募を促した。

知ってトクする知財施策の紹介では、岡山県知財総合支援窓口の紹介や、外国出願補助金制度等の特許庁が行っている支援制度の紹介がなされた。

セミナー後の交流会では、ほぼ2名ずつに分かれて着席した参加者に対して1名の弁理士が応対し、弁理士側が適宜交代しながら活発な意見交換が行われた。



主催：日本弁理士会中国支部、日本弁理士会

共催：中国地域知的財産戦略本部

広島

<知財広め隊セミナー in 広島>

「PAT やってみた」ら「もうけの花道」に～事業の落とし穴を避ける知恵～

【開催日】平成29年12月8日（金）【場 所】尾道商工会議所

プログラム

- 15:00 開会挨拶
- 15:05 講演「PAT やってみた」ら「もうけの花道」に
講師：忒熊 嗣久 氏（日本弁理士会中国支部 副支部長）
- 16:20 弁理士知財キャラバンの紹介
- 16:30 知ってトクする知財施策の紹介
- 16:50 地域の弁理士との座談会「知財って、こんな感じ」
- 18:00 閉会挨拶

参加者

36名

イベントの様子

セミナーでは、日本弁理士会が制作・公開している動画コンテンツ「PAT やってみた」と、中国経済産業局が制作・公開している動画コンテンツ「もうけの花道」と「もうけの落とし穴」を引用しながら、特許・実用新案・意匠・商標による保護事例や、不正競争防止法事件等の知的財産権の概要について説明した。

実企業を例に挙げての具体的な解説は分かりやすく、参加者の皆様に知的財産を身近に感じてもらうことができた。

交流座談会では、2～3名ずつに分かれて着席した参加者に対して1名以上の弁理士が応対し、弁理士側が適宜交代しながら意見交換が行われた。参加者同士でも名刺交換が行われ、終了時刻まで闊達な意見交換が行われた。



主催：日本弁理士会中国支部、日本弁理士会

共催：中国地域知的財産戦略本部

後援：広島県、尾道市、尾道商工会議所、因島商工会議所、尾道しまなみ商工会

山口

<知財広め隊セミナー in 山口>

「PAT やってみた」ら「もうけの花道」に～事業の落とし穴を避ける知恵～

【開催日】平成29年12月4日（月）【場 所】下関商工会館

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 15:00 開会挨拶
- 15:05 講演「PAT やってみた」ら「もうけの花道」に
講師：木村 正彦 氏（日本弁理士会中国支部 副支部長）
- 16:20 弁理士知財キャラバンの紹介
- 16:30 知ってトクする知財施策の紹介
- 16:50 地域の弁理士との座談会「知財って、こんな感じ」
- 18:00 閉会挨拶

参加者

39名

イベントの様子

セミナーでは、日本弁理士会が制作・公開している動画コンテンツ「PAT やってみた」と、中国経済産業局が制作・公開している動画コンテンツ「もうけの花道」と「もうけの落とし穴」を引用しながら、特許・実用新案・意匠・商標による保護事例や、不正競争防止法事件等の知的財産権の概要について説明した。

実企業を例に挙げての具体的な解説は分かりやすく、参加者の皆様に知的財産を身近に感じてもらうことができた。

交流座談会では、2～3名ずつに分かれて着席した参加者に対して1名以上の弁理士が応対し、弁理士側が適宜交代しながら活発に意見交換を行った。

参加者からのアンケートには「普段接点がない弁理士と話すことができてよかった」「座談会が有意義であった」等の意見を頂戴し、山口県の弁理士と地域の方を結ぶ良い機会になったと思われる。



主催：日本弁理士会中国支部、日本弁理士会

共催：中国地域知的財産戦略本部

後援：山口県、下関市、下関商工会議所、（公財）やまぐち産業振興財団

徳島

<知財広め隊セミナー in 徳島>

知財の力～事業戦略に知財は必要か？～

【開催日】平成30年2月21日（水）【場 所】パークウェストン

プログラム

- 17:00 開会挨拶
- 17:05 講演「知財の力 ～事業戦略に知財は必要か？～」
講師：和田 隆滋 氏（日本弁理士会四国支部 副支部長）
- 18:05 交流会
- 19:30 閉会挨拶

参加者

36名

イベントの様子

講演では「知財の力」と題して、事業戦略に知財が必要な理由を、知財全般の理論や事例を紹介しつつ説明した。知財全般とテーマを広くすることにより多くの方に参加していただけた。内容においても具体的な事例を挙げて解説したため、初心者にも分かりやすい構成となっており、事業戦略に知財を活用する際のヒントになったと思われる。

交流会では、徳島の事業者様や阿波銀行様との親睦を深めることができ、多くの方と知財に関連した話をすることができた。終了時刻を過ぎてもなお、話題は尽きず、盛況のうちに終了した。



主催：あわぎんビジネスカレッジ、（株）阿波銀行、日本弁理士会四国支部、日本弁理士会
後援：（公財）とくしま産業振興機構・徳島県よろず支援拠点、（一社）徳島県発明協会

香川

<知財広め隊セミナー in 香川>

ベンチャーから世界へ～斬新な発想と知財活用～

【開催日】平成30年11月19日(月)【場所】三豊市役所危機管理センター

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 15:30 開会挨拶
 15:40 講演「ベンチャーから世界へ～斬新な発想と知財活用～」
 講師：三宅 徹 氏（株式会社未来機械 代表取締役社長）
 16:10 パネルディスカッション「ものづくりにおける外部専門家の活用の重要性」
 パネリスト：三宅 徹 氏（株式会社未来機械 代表取締役社長）
 中井 博 氏（日本弁理士会四国支部 副支部長）
 コーディネーター：小笠原 宜紀 氏（日本弁理士会四国支部 幹事）
 16:40 座談会
 17:30 閉会挨拶

参加者

46名

イベントの様子

講演では、株式会社未来機械代表取締役社長の三宅徹氏に、学生発ベンチャーから現在に至るまでの苦労や取り組みについてご講演をいただいた。その後パネルディスカッションでは、未来機械の知財の発掘や活用について、弁理士とどのように協力して進めてきたかについてご説明をいただいた。弁理士との協力関係をどのように構築していくか、また、弁理士との連携をしていくことの重要性を参加者の方にご理解いただけたことは有益であったと考える。

交流会は複数のテーブルに参加者と弁理士が分かれて対話する形式で行われた。各テーブルでは日頃の疑問点等について積極的に議論がなされており、参加者と弁理士がお互いの考え方について共有することができた。また、参加した学生から弁理士になったきっかけ等の質問があり、知財や弁理士への関心を高めることができたのではないかと考える。



主催：日本弁理士会四国支部、日本弁理士会
 共催：三豊市
 後援：香川県、三豊市商工会、(公財)かがわ産業支援財団

愛媛

<知財広め隊セミナー in 愛媛>

四国は紙国！紙産業の集積地で知財を活用した地域おこしを
～知的財産を活かした中小企業の戦い方を学ぶ～

【開催日】平成31年1月11日（金）【場 所】ホテルグランフォーレ

プログラム

- 16:10 開会挨拶
 16:20 講演「お札の技術と紙の構造解析技術の開発 ～ 特許出願時の失敗事例紹介 ～」
 講師：内村 浩美 氏（愛媛大学紙産業イノベーションセンター長）
 17:20 講演「中小企業の経営に役立つ知的財産」
 講師：相原 正 氏（弁理士）
 18:00 交流会
 19:30 閉会挨拶

参加者 97名

イベントの様子

基調講演では、内村教授からお札（日本銀行券）の偽造防止技術と、紙や印刷物の構造解析技術を開発した時の「プロセスと気づき」を分かりやすくお話された上で、本解析技術の特許出願した時の失敗事例についても併せてご紹介いただいた。また、失敗事例として、専門家に依頼することなく、ご自身で出願したために、権利範囲が本来取得できたであろう範囲よりも狭くなってしまった経験などをお話され、「餅は餅屋」という言葉が印象的であった。研究開発を企業などと連携して上手く進めていく上での知財の活用方法にも言及され、参考になられた方も多かったものと思われる。

続く相原弁理士の講演では、成長している中小企業の知的財産の活用事例を紹介しながら、中小企業にとっての知的財産の活用方法が分かりやすく解説された。

交流会では、序盤、中盤、終盤に設けられた挨拶や自己紹介を通じて、「知財広め隊セミナー」の趣旨、それぞれの立ち位置でのセミナーに寄せる想いなどをご理解いただけたのではないだろうか。また、交流会の時間が余裕を持って設けられていたため、受講者は、知財に関するテーマについて弁理士とゆっくり話ができて、人脈作りの場としてもご活用いただけたものと思われる。



主催：日本弁理士会四国支部、日本弁理士会

共催：伊予三島ライオンズクラブ

後援：四国中央市、（公社）愛媛県紙パルプ工業会、四国中央商工会議所、（一社）愛媛県発明協会

高知

<知財広め隊セミナー in 高知>

ブランドってなあに?～基礎からの商標権とブランディング戦略～

【開催日】平成30年1月12日(金)【場所】コワーキング・コストディスパース 町の自習室 あこ

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

- プログラム** 18:00 講演:「ブランドってなあに?～基礎からの商標権とブランディング戦略～」
 講師:上岡 将人 氏(日本弁理士会四国支部 幹事)
 城田 晴栄 氏(弁理士)
- 19:45 交流会
 20:45 閉会

参加者 28名

イベントの様子 本セミナーの開催地である土佐町は、「とさちょうものがたり」という地域の「素敵なものごと」のアピールや、ロゴマークの活用により地域活性化につながる活動を実施している。本セミナーは、地域ブランディング、地域発のビジネスに関心を持つ参加者に対し、商標権を使った地域ブランディングに関して分かりやすく説明をすることを目的として開催された。

第1部では、ブランド及びブランドを守る手段としての商標登録の説明の後、架空のパン屋のブランディング戦略についてワークショップを行った。参加者に積極的な意見を求めることで双方向のやり取りが行われ、また、地元高知の事例を興味深く紹介していたので、参加者が熱心に聞き入っていた。

第2部では、短時間ながら簡潔に実際の商標登録出願の流れについて説明を行った。参加者から実際に商標登録出願を行う際の疑問点や、弁理士の探し方について複数の質問があった。

交流会では、地元企業などの参加者に加えて会場を運営するNPO法人や、高知県職員、さらに中学生も参加し、弁理士との活発な意見交換が行われた。



福岡

<知財広め隊セミナー in 福岡>

稼げる知財の活かし方

【開催日】平成30年12月4日（火）【場 所】西鉄グランドホテル

プログラム

- 15:00 開会挨拶
 15:05 講演「元特許庁長官が語る中小企業の知財」
 講師：麻生 渡 氏（福岡工業大学最高顧問、元特許庁長官、元福岡県知事）
 15:55 パネルディスカッション「知財で儲けよう」
 パネリスト：麻生 渡 氏
 大庭 真一 氏（福岡銀行 取締役常務執行役員）
 柿原 秀己 氏（株式会社長寿乃里 取締役）
 利光 洋 氏（日本弁理士会九州支部 幹事）
 コーディネーター：松尾 憲一郎 氏（弁理士）
 17:20 交流会
 18:30 閉会挨拶

参加者

155名

イベントの様子

講演では「第2創業と知的財産戦略」という内容で、「高橋是清」の功績、アインシュタインが特許庁の審査官をしていた話に始まり、第2創業のため知財で独占的に事業をやることの必要性が話された。現在、高齢化、少子化とこのままでは、日本が将来も産業国家であり得ないと指摘され、現在進行中の、カスタマイゼーション、シェアエコノミー、フィンテック、AIの普及、グローバリゼーション、米中冷戦にまで話が及んだ。そして、これからの第2創業イノベーションについて、自分に「シーズ」のないところからジャンプすると失敗するので、「身近なところから堅実に」することが大切である。自前主義でなく他の人との連携の必要性などについて説明された。企業が新分野に進出するには、知的財産権の確保が必要であると共に、どのような事業計画を立てて実行するかは重要であり、事例をもとにした講演は有益であった。

パネルディスカッション「知財で儲けよう」では、知財の評価活用についてディスカッションが行われた。日本における特許及び実用新案の出願が減っているのに対し、中国では日本の10倍の出願がある話には始まり、中小企業でその営業利益率についてみると、知的財産権を有する会社の方が有しない会社の2倍以上あり、知財を有することの経営への効果を読み取れる。また、地元金融機関から、融資の際は、決算書（過去の実績）のみならず企業の実態（将来の成長の可能性、知財を含む事業価値）も重要な要素であるとの考えが披露された。また、知財戦略に基づく地元企業の「石けん」について、開発をしながらどのような知財があるか考えている事例が報告された。知財の活用による事業価値の向上について、パネラー間で共有されているように思えた。中小企業も知財を活用した事業展開が求められている。

交流会では、講師のほか、地元の弁理士も加わり、参加者との歓談を通して交流を深めることができ好評であった。



北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

主催：日本弁理士会、福岡銀行

共催：日本弁理士会九州支部

後援：九州経済産業局、福岡県、福岡市、(独)中小企業基盤整備機構九州本部、福岡県商工会連合会、福岡商工会議所、福岡県弁護士会、福岡県中小企業団体中央会、(一社)福岡県中小企業家同友会、(一社)福岡県発明協会、(公社)日本技術士会九州本部、TKC九州会、(株)西日本新聞社、(株)F F Gベンチャービジネスパートナーズ、(株)F F Gビジネスコンサルティング

福岡

<知財広め隊セミナー in 福岡>

知的財産っておもしろい～切っても切れない起業と知財～

【開催日】平成30年5月28日(月)【場所】九州大学伊都キャンパス センター1号館

プログラム

18:30 開会挨拶

18:35 講演「入門編～知的財産っておもしろい～」

講師：松尾 憲一郎 氏（弁理士）

講演「応用編～事業の成功のための調査と、それを活かすビジネスモデルと知財との関係～」

講師：羽立 幸司 氏（日本弁理士会九州支部 副支部長）

20:00 交流会

20:50 閉会挨拶

参加者

76名

イベントの様子

「入門編」では、松尾弁理士より、特許、意匠、商標などの知的財産権を取得できたケース、また取得できなかったケース、ビジネスと知的財産権との関係が実例をもって説明された。意外なものでも特許や意匠登録の対象になること、またそれが大きくビジネス展開に関係する実例は起業部の学生の励みになったことと思われる。商標の説明では、地元ならではの商業施設の名称の由来が説明され、これもビジネスの実際を感じる一助となったことであろう。

「応用編」では、羽立弁理士より、起業するにあたり大切な事業計画における知財の位置付けの説明があった。入門編での身近な実例とあいまって、知的財産の重要性の理解が深まったものと思われる。また、知的財産権が単に製品やサービスを保護するためだけではなく、事業を進める際にチーム（協力者）との関係を強固にする上で重要な役割を果たすことの説明もあり、学生にとって、知的財産が「使えるもの」と感じてもらえたのではないだろうか。

交流会では、講師の周りには常に学生が集まり、話に花が咲いていた。



佐賀

＜知財広め隊セミナー in 佐賀＞

経営に役立つ知財活用事例（ヒット商品・ブランド化）

【開催日】平成30年3月2日（金）【場 所】ホテルグランデはがくれ

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 15:00 開会挨拶
 15:05 講演「経営に役立つ知財活用（ヒット商品・ブランド化）」
 講師：本郷 伸介 氏（日本弁理士会九州支部 幹事）
 16:15 地域の弁理士との座談会「販路開拓を一緒に考える」
 17:45 交流会
 19:30 閉会挨拶

参加者

22名

イベントの様子

第一部の講演では、数多くの事例を紹介することで知財への興味を抱かせる工夫がなされていた。また、販路開拓というコアテーマに即した事例も紹介され、発想や思考の手順も紹介された。要所で知財広め隊の趣旨、知財キャラバン事業のことおよび九州支部の活動等にも触れられた。

第一部後半の座談会では、あらかじめグループ分けされたテーブル枠に弁理士が進行役を兼ねて1名ずつ入り、グループごとにフリートーク（質疑、相談を含む）を行った。

「販路開拓」のみに拘らず討議進行したところ、とても交流がしやすい雰囲気となり、闊達な意見交換ができたものと思われる。各グループの振り返りによれば、小グループ編成による進行が均等に意見も出やすく、事業者にとって必要な知財事例を紹介することもできて好評だったとのことである。

第二部の交流会では、参加者と弁理士の意見交換を行いながら、交流が図られたほか、別途のセミナー開催の要請もいただく等、横の繋がりを緊密にできた点でも大変有意義だったといえる。

また、当日は「佐賀新聞社」及び「ふくおか経済」からの取材もあり、盛況のうちに終了した。



主催：日本弁理士会九州支部、日本弁理士会

共催：佐賀商工会議所、佐賀県商工会連合会

後援：九州経済産業局、佐賀県、佐賀県中小企業団体中央会、（株）佐賀銀行、（株）佐賀共栄銀行、（株）佐賀新聞社

長崎

<知財広め隊セミナー in 長崎>

知らなかったじゃ済まされない!? ネット時代に身につけておくべき知財リテラシー

【開催日】平成30年12月4日(火)【場所】長崎商工会議所

プログラム

- 14:00 開会挨拶
- 14:05 講演「知らなかったじゃ済まされない!? ネット時代に身につけておくべき知財リテラシー」
講師：渥美 元幸 氏（弁理士）
- 15:30 交流会・相談会
- 17:00 閉会挨拶

参加者

36名

イベントの様子

セミナーでは、講師がこれまでに受けた相談や質問に回答する形式で、知的財産制度の本質や概要を説明した。特許から著作権まで知的財産権全般にわたり、ニュースでも取り上げられて話題になったことのある事例や分かりやすい事例を用いて説明がなされた。

情報制御の困難性や、安易な情報発信は侵害の可能性が高い行為であるといったインターネット時代特有の注意点に参加者は熱心に耳を傾けていた。

交流会では弁理士に対する質問や意見交換が終了時間まで活発に行われており、別途設けた個別相談ブースを利用される方もいて、参加者はそれぞれ有意義な時間を過ごせたようである。



主催：日本弁理士会九州支部、日本弁理士会
共催：長崎商工会議所、長崎県商工会連合会、長崎県中小企業団体中央会
後援：九州経済産業局、長崎県、長崎市、(一社)長崎県発明協会

熊本

<知財広め隊セミナー in 熊本>

水俣から！知財で大企業に負けない経営を！！

【開催日】平成30年11月30日（金）【場 所】湯の児 海と夕やけ

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 15:00 開会挨拶
 15:05 講演「大企業に負けない知財経営」
 講師：高宮 章 氏（日本弁理士会九州支部 幹事）
 16:00 講演「経営に役立つ知財活用」
 講師：尾崎 真哉 氏（日本政策金融公庫 熊本創業支援センター所長）
 16:35 講演 知財総合支援窓口紹介
 講師：村田 栄治 氏（INPIT熊本県知財総合支援窓口）
 17:00 交流会
 18:30 閉会挨拶

参加者

50名

イベントの様子

セミナー「大企業に負けない知財経営」では、前半では、知財に馴染みのない方に知財とは何かについて知っていただくために、知財の種類や、特許権、商標権等の概要及び取得の手続き等について説明がなされた。また、弁理士を知ってもらうために、弁理士の仕事内容や弁理士に依頼するメリットについての話があった。

後半は、知財を活用した経営について知的財産権取得のメリット、知財で成功した会社の事例、失敗事例を、熊本県の中小企業の具体例も数件交えながら複数例を紹介し、知財経営の重要性を説明し、終盤で水俣スイーツの仮想事例を題材に、知財の検討例を説明した。

続いて、セミナー「経営に役立つ知財活用」では、日本市場の成長停滞と高齢化等の問題が顕在化する中で、中小企業が他社に打ち勝つための基本戦略の検討の重要性、差別化や個性化により新たな価値創造の可能性の検討方針等について説明がなされた。

セミナー「知財総合支援窓口紹介」では、最近の知財を巡るエピソードを交えながら、知財の説明や知財総合支援窓口について紹介された。

知財のことを知らない方、又は意識していない方にとっては、知財の概要や重要性について理解していただくとともに、知財について相談できる専門家を知ってもらえる良い機会となった。また、知財に関する成功事例、失敗事例を紹介したことで、中小企業でも知財は身近な問題であることを認識していただけたようである。

交流会では、受講者に5つの丸テーブルに分かれて座っていただくとともに、それぞれのテーブルに弁理士を配置して、セミナーの感想や知財に関する相談等に関する意見交換を行った。交流会の半ばからは、受講者の方や弁理士も最初に座っていたテーブルを離れてランダムに移動し、参加者同士で広く交流を図ることができた。

開催地の熊本県水俣市では今まで知財に関するセミナーがほとんど開催されなかったとのことで、参加者からも好評であった。



主催：日本弁理士会九州支部、日本弁理士会

共催：（株）日本政策金融公庫熊本創業支援センター

後援：九州経済産業局、熊本県、水俣市、（独）中小企業基盤整備機構九州本部、熊本県商工会連合会、熊本商工会議所、水俣商工会議所、熊本県中小企業団体中央会、（一財）熊本県起業化支援センター、（公財）くまもと産業支援財団、（大）熊本大学、（社）熊本県中小企業診断士協会、中小企業庁熊本県よろず支援拠点、INPIT熊本県知財総合支援窓口

大分

＜知財広め隊セミナー in 大分＞

経営に役立つ知財活用事例（ヒット商品・ブランド化）

【開催日】平成30年2月2日（金）【場 所】ホテル日航大分オアシスタワー

プログラム

- 16:00 開会挨拶
 16:05 講演「経営に役立つ知財活用（ヒット商品・ブランド化）」
 講師：丹生 哲治 氏（日本弁理士会九州支部 幹事）
 17:15 地域の弁理士との座談会
 19:00 閉会挨拶

参加者

28名

イベントの様子

講演では、「経営に役立つ知財活用事例（ヒット商品・ブランド化）」をテーマに、地元大分での成功事例など具体的な知財の活用事例を紹介するとともに、知財を上手く活用できていない失敗事例も交えて知財経営の必要性について説明がなされた。特に、地元大分の地域団体商標“中津からあげ”の踏み込んだ説明が好評であった。

座談会では、参加者からの質問や意見をもとに、知財の活用について、活発な意見交換を行った。また、関係団体や他士業の方とは、知財の普及について、情報交換を行うことができた。

セミナーのアンケートでも、「役に立った」との良好な回答が多く得られ、講演で紹介した「弁理士知財キャラバン」については、活用を検討したいとの反応もあった。



主催：日本弁理士会九州支部、日本弁理士会

後援：九州経済産業局、大分県、大分市、大分県商工会連合会、大分県中小企業団体中央会、大分商工会議所、
 （一社）大分県発明協会、大分県よろず支援拠点、大分合同新聞社

宮崎

<知財広め隊セミナー in 宮崎>

ヒット商品・ブランド化へのヒント

【開催日】平成30年11月14日(水)【場 所】ニューウェルシティ宮崎

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

- 15:30 開会挨拶
 15:35 講演1「ヒット商品・ブランド化へのヒント」
 講師：園田 康弘 氏（日本弁理士会九州支部 幹事）
 講演2「経営に役立つ知財活用」
 講師：尾崎 真哉 氏（日本政策金融公庫 熊本創業支援センター所長）
 17:10 交流会
 19:10 閉会挨拶

参加者

61名

イベントの様子

第1部では、受講者は、知的財産に関して初心者から上級者まで幅広く参加していただいていると思われたため、知的財産権の概要や成功・失敗事例等の基本的な説明に加え、著作権法、GI、宮崎県の知財出願状況、中小企業の知財を取り巻く状況、外国出願、知財の学校教育への取り組み等の説明が行われ、盛りだくさんの講義内容であった。

受講者には、知財への取り組みが国や県の経済政策として重要であることを理解していただいた上で、成功事例や失敗事例の説明の中から、知財経営・知財戦略の必要性・重要性について理解していただいたことだと思う。

続く第2部では、深刻化する人口減少と高齢化という課題を抱えながら、中小企業が他者と差別化を図り、打ち勝つための基本戦略について、「道を明らかにすること」、「事業と融合させること」、「参入障壁を築くこと」、の3つのポイントについて説明がなされた。特に「参入障壁」は、知財戦略によって築かれるものであり、受講者には知財活用が経営に役立つことを理解していただけたと思われる。また、アンケートでは、今後もセミナーを継続してもらいたいとの要望や、もっと専門的な内容を聞きたい旨の意見もあった。

交流会は、軽食をとりながら意見交換が行われ。当初の予定では、弁理士を中心に数人単位のグループディスカッションを行う予定だったが、実際、交流会が始まると、参加者のみなさんは、自席に留まることなく、積極的にいろんな方々と真剣な意見交換を行っていた。また、弁理士に自社の知財への取り組みについて熱心に質問・意見交換もされていたようである。

行政・金融・知財に加え様々な分野の企業の方が参加されていたこと、また、地域性から何らかの形で参加者同士の繋がりがあつた方が多かったこと等から、議論も尽きることなく、2時間でも足りないくらいの大盛況であった。



主催：日本弁理士会九州支部、日本弁理士会

共催：(株)日本政策金融公庫熊本創業支援センター

後援：九州経済産業局、宮崎県、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)宮崎貿易情報センター、(公財)宮崎県産業振興機構、
 宮崎県商工会議所連合会、宮崎県商工会連合会、宮崎県中小企業団体中央会、(一社)宮崎県工業会、
 (一社)宮崎県中小企業診断士協会、(一社)宮崎県発明協会、INPIT 宮崎県知財総合支援窓口、宮崎県信用保証協会、
 (大)宮崎大学、(株)宮崎銀行、宮銀ベンチャーキャピタル(株)、(株)宮崎太陽銀行、(株)宮崎太陽キャピタル

鹿児島

<知財広め隊セミナー in 鹿児島>

商品アイデア・ネーミング これなら取れる知的財産権！

【開催日】平成30年10月26日（金）【場所】ソラリア西鉄ホテル鹿児島

プログラム

- 15:00 開会挨拶
 15:05 講演「商品アイデア・ネーミング これなら取れる知的財産権！」
 講師：森田 海幹 氏（日本弁理士会九州支部 幹事）
 16:10 講演「経営に役立つ知財活用」
 講師：尾崎 真哉 氏（日本政策金融公庫 熊本創業支援センター所長）
 17:00 交流会
 18:30 閉会挨拶

参加者

24名

イベントの様子

前半のセミナーでは、知的財産全般の説明の後に特許と商標について具体的な説明を行った。説明においては、講師が日常業務の相談において重要なのに理解が乏しいと感じている部分を抜粋し、両法域への理解の入り口を少しでも広げられるような構成で仮想事例等を交えながら展開した。また、商標においては、商標登録出願の基本的な構成である商標と指定商品・役務との関係を説明すると共に、登録を受けた後の商標の使用態様の注意事項やブランド戦略について説明した。

後半のセミナーでは、日本政策金融公庫が取り組まれている知財を活用した支援策等も含め、深刻な人口減少と高齢化に向き合い他社に打ち勝つための基本戦略や、小規模企業ほどライバルが多く差別化が必須であること、そして、差別化のための検討の道具の一つとしてSWOT分析を示して説明を行なうなど、具体的に検討を進めることができるように説明された。

続く交流会では4つのテーブルにわかれ、各テーブルに弁理士を配置し、課題（仮想事例）について議論してもらうスタイルを基本としながら進行した。

課題は町のお菓子屋さんを主人公とした特許、意匠、商標、不正競争防止法に関する内容で、知的財産が事業経営においていかに重要であり無視できないものであるかを理解していただくものであったが、雑談も交えて非常に活気ある盛り上がった会となった。課題に対する議論を交流会の柱としつつも、これをきっかけとして参加者による素朴な疑問や現在の事業等の状況をお話され、それらに対するアドバイスを行うことができた点で非常に有益であった。



主催：日本弁理士会九州支部、日本弁理士会

共済：（株）日本政策金融公庫熊本創業支援センター

後援：鹿児島県、鹿児島市、（公財）かごしま産業支援センター、鹿児島県商工会連合会、鹿児島県商工会議所連合会、
 鹿児島県中小企業団体中央会、（公社）鹿児島県工業倶楽部、（独）日本貿易振興機構（ジェトロ）鹿児島貿易情報センター、
 （一社）鹿児島県中小企業診断士協会、INPIT 鹿児島県知財総合支援窓口、（大）鹿児島大学産学・地域共創センター、（株）南日本新聞社

沖縄

<知財広め隊セミナー in 沖縄>

経営に活かす知財戦略 ～知財が成長のカギになる～

【開催日】平成29年12月12日（火）～12月13日（水）【場 所】沖縄セルラーパーク那覇

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

プログラム

◆12月12日（火）

16：30 講演「知財のイロハから知財戦略の基本まで」（国内企業向け）

講師：本堂 裕司 氏（弁理士）

17：30 閉会

◆12月13日（水）

16：30 講演「知財のイロハから知財戦略の基本まで」（海外企業向け、通訳有り）

講師：本堂 裕司 氏（弁理士）

17：30 閉会

参加者

1日目 40名、2日目 30名

イベントの様子

第8回オキナワベンチャーマーケット（異業種国際交流イベント）への相乗りイベントとして2日間開催した。1日目は国内向け、2日目は海外（主に台湾企業）向けに実施した。イベント全体の交流会には、日本弁理士会がスポンサーとして参加し、メインステージにて瀧野文雄副会長より挨拶を行った。

1日目の講演では、40人以上と期待よりも多くの方に参加いただいた。講演後には参加者から個別に質問を受けることもあり、知的財産の重要性を感じてもらえた。特に、商標についてはブランドづくりからその保護の必要性など熱心に聞きいっていただいた。

2日目の講演では、30名以上に参加いただき、多くは台湾企業の方々であった。皆さん最後まで熱心に聞いておられ、日本国の知的財産制度に興味を持たれた様子であった。

全体を通じて、のべ70名以上の方々に参加していただき、知的財産の重要性に気付いてもらう良い機会を提供できた。また、講演及び交流会の後に名刺交換が行われ、詳しい相談を後日に行いたいという要望があるなど、地元弁理士と参加者とを繋ぐ良い場にもなった。

全体を通じて、のべ70名以上の方々に参加していただき、知的財産の重要性に気付いてもらう良い機会を提供できた。また、講演及び交流会の後に名刺交換が行われ、詳しい相談を後日に行いたいという要望があるなど、地元弁理士と参加者とを繋ぐ良い場にもなった。



巡回特許庁
in
北海道

<併催イベント「知財広め隊セミナー」>

あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方

【開催日】平成30年12月12日（水）【場 所】ACU-Y

プログラム

- 14:30 講演「あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方」
講師：大窪 智行 氏（日本弁理士会北海道支部 幹事）
- 15:00 ワークショップ
「弁理士と一緒に知財の見つけ方をケーススタディに沿って考えてみましょう」
- 15:30 閉会

参加者

27名（日本弁理士会集計）

イベントの様子

セミナーでは、知的資産や知的財産の種類等について初心者にもわかりやすい丁寧な説明があり、次いで特許、商標、意匠それぞれについて権利の内容、具体例、権利取得のフローなどについての解説があった。

続く第2部のワークショップでは、グループごとに弁理士及び参加者の自己紹介が行われた後、初心者向け仮想事例を用いどのような知的財産制度を用いてどのように保護が可能か、また複数の保護方法がある場合には互いの優先順位をどうすればよいかなどについて、活発な討議・意見交換が行われた。また、事例検討することで参加者が気付いた新たな疑問点についても意見が交わされるなど、事例の枠を超えた議論もなされていた。

セミナーのみでは実感しづらい知的財産について事例を用いて議論し検討したことから、理解が深まったと思われる。



巡回特許庁 in 東北

<併催イベント「知財広め隊セミナー」>

あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方

【開催日】平成30年9月4日（火）【場 所】青森県観光物産館アスパム

北海道

東北

北陸

関東

東海

近畿

中国

四国

九州

- プログラム**
- 15:40 講演「あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方」
講師：上野 大輔 氏（日本弁理士会東北支部 幹事）
 - 16:10 ワークショップ
「弁理士と一緒に知財の見つけ方をケーススタディに沿って考えてみましょう」
 - 16:40 閉会

参加者 30名（日本弁理士会集計）

イベントの様子 セミナーでは知的財産の概要を説明したのち、知財を利用した経営戦略のメリット等について話がなされた。初心者の方にも知的財産の活用が企業活動に重要であることを理解していただけたのではないかと。

ワークショップでは、参加者には始めに自己紹介及び知財の知見・経験を話していただき、グループの特徴を捉えつつ弁理士が進行した。どのグループも大変盛り上がり、パソコンを使用して商標検索を行ったグループもあった。1時間という短時間ではあったが、皆さんに満足していただけたようである。

終了時刻を過ぎても活発な意見が交わされ、意義のあるセミナーであった。



巡回特許庁 in 福井

<併催イベント「知財広め隊セミナー」>

あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方

【開催日】平成30年10月30日（火）【場 所】福井県国際交流会館

プログラム

- 16:10 講演「あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方」
講師：川崎 好昭 氏（日本弁理士会北陸支部 副支部長）
- 16:40 ワークショップ
「弁理士と一緒に知財の見つけ方をケーススタディに沿って考えてみましょう」
- 17:25 閉会

参加者

30名（日本弁理士会集計）

イベントの様子

セミナーでは、知的資産や知的財産の種類等について初心者にもわかりやすい丁寧な説明があり、次いで特許、商標、意匠それぞれについて権利の内容、具体例、権利取得のフローなどについての解説があった。知的財産の捉え方や考え方に重点が置かれていたため初心者には特に有益であった。

続くワークショップでは、初心者向け仮想事例を用いどのような知的財産制度を用いてどのように保護が可能か、また複数の保護方法がある場合には互いの優先順位をどうすればいいかなどについて、活発な討議・意見交換が行われた。

セミナーのみでは実感しづらい知的財産について事例を用いて議論し検討したことから、理解が深まったと思われる。



巡回特許庁
in
浜松

<併催イベント「知財広め隊セミナー」>

あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方

【開催日】平成30年9月10日（月）【場 所】アクトシティ浜松

- プログラム** 16:20 ポスターセッション「あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方」
 <ポスター事例>
 ・ネジザウルスGT（株）エンジニア
 ・ハリナックス（コクヨS&T（株））
 ・ポストフレックス（保安道路企画（株））
 ・GOPAN（パナソニック（株））
 17:20 閉会

参加者 26名（日本弁理士会集計）

イベントの様子 日本弁理士会が発行している冊子「ヒット商品はこうして生まれた！」に掲載している事例の中から「ネジザウルスGT」「ハリナックス」「ポストフレックス」及び「GOPAN」の4つをポスター展示した。各ポスターに1人の弁理士を配置し、ヒット商品と知的財産の関わりについて説明及び質疑応答を行った。

近い距離で参加者に説明することができ、参加者が質問をし易い雰囲気であった。このため、質疑応答が活発であった。また、説明役の弁理士が実物を用意したり特許公報を配布したりしたので、参加者は理解し易かったようである。知識がない方にとっても知的財産を身近に感じてもらえる良い機会になったと思われる。



巡回特許庁
in
中部

<併催イベント「知財広め隊セミナー」>

ヒット商品から学ぶ！成功の秘訣

【開催日】平成30年11月29日（木）【場 所】ポートメッセなごや

プログラム 13:00 ポスターセッション「ヒット商品から学ぶ！成功の秘訣」

<ポスター事例>

- ・すっくの傘（株）ベネッセコーポレーション）
- ・XYLITOL（株）ロッテ）
- ・ポストフレックス（保安道路企画株）
- ・キュキュット（花王株）
- ・フランスパン工房（株）おやつカンパニー）
- ・ネジザウルスGT（株）エンジニア）

14:00 閉会

参加者 43名（日本弁理士会集計）

イベントの様子

日本弁理士会が発行している冊子「ヒット商品はこうして生まれた！」に掲載している事例の中から「すっくの傘」、「XYLITOL」、「ポストフレックス」、「キュキュット」、「フランスパン工房」、「ネジザウルスGT」の6つをポスター展示し、弁理士がヒット商品と知的財産の関わりについて説明及び質疑応答を行った。

近い距離で参加者に説明することができ、参加者が質問をし易い雰囲気であった。このため、質疑応答が活発であった。また、説明役の弁理士が実物を用意したり特許公報を配布したりしたので、参加者は理解し易かったようである。知識がない方にとっても知的財産を身近に感じてもらえる良い機会になったと思われる。



巡回特許庁
in
KANSAI

<併催イベント「知財広め隊セミナー」>

経営と知財の深い関係

【開催日】平成30年10月16日(火)【場 所】ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター

プログラム

- 14:50 講演「経営と知財の深い関係」
講師：鷹津 俊一 氏（弁理士・中小企業診断士）
- 15:50 閉会

参加者

62名（日本弁理士会集計）

イベントの様子

知的財産が中小企業の経営にもたらす役割、関係について、弁理士・中小企業診断士の両方の視点を生かしたセミナーが行われた。まずは、中小企業の知財活用の現状について、出願件数を用いた分析が行われた。続いて、「見せる（見る）、つなぐ、継ぐ」という3つのキーワードを基に話が進められた。「見せる（見る）」では、知的財産保護の姿勢を外部に見せる（見る）ことで、会社のガバナンス、会社同士の間合い、人材育成の姿勢を見せる（見る）具体的な事例も挙げて説明が行われた。「つなぐ」では、商標を活用して経営に結び付ける（つなぐ）ことの事例や、知財が経営者と社員、社員同士をつなぐ事例が紹介された。「継ぐ」では、知的財産権を移転、相続、合併等の手段で引き継いでいくことについて、具体的な説明が行われた。

最後に、講師が弁理士としてクライアントに関わるときの視点、中小企業診断士としてクライアントに関わるときの視点が、実体験に基づいて紹介された。

実体験に基づいた事例や、身近な事例が盛り込まれていたこともあり、受講者に分かり易い内容であり、大変盛況なセミナーであった。



巡回特許庁
in
山口

<併催イベント「知財広め隊セミナー」>

PAT やって見たらもうけの花道に

【開催日】平成30年9月27日（木）【場 所】山口グランドホテル

プログラム

- 15:50 講演「PAT やって見たらもうけの花道に」
講師：金井 一美 氏（日本弁理士会中国支部 副支部長）
16:20 座談会
16:50 閉会

参加者

23名（日本弁理士会集計）

イベントの様子

中国地方5県で放送された「PAT（パット）やってみた！」で実際に放映された発明品を題材として、知的財産権とはどのような権利なのか、どのような種類があるのかなどについて、初心者にもわかりやすく解説した。一つのアイデアから発明、意匠、商標など複数の知的財産が生まれることや、それぞれの知的財産を別個に保護することができること、そして、それぞれの知的財産がいずれもビジネスと深くかかわっていることに、参加者の関心が強く寄せられていた。

座談会では参加者から、普段思ってもなかなか訊くことができなかったような知的財産に関する素朴な疑問や、知的財産権の取得に要する費用についての質問、また、知的財産権について近年報道などで話題になった訴訟・判決を解説してほしいといった声が弁理士に投げかけられ、弁理士から適切なアドバイスや説明が行われた。



巡回特許庁
in
四国

＜併催イベント「知財広め隊セミナー」＞

高知発！ヒット商品への道～行き先を決めるのは地場製品のチカラ～

【開催日】平成31年1月24日（木）【場 所】高知市文化プラザかるぽーと

プログラム 15:40 講演「高知発！ヒット商品への道～行き先を決めるのは地場製品のチカラ～」
講師：松田 光代 氏（弁護士・弁理士）
16:40 閉会

参加者 31名（日本弁理士会集計）

イベントの様子 セミナーでは、知財の基本的考え方や知財を活用してヒット商品につなげた地場製品の成功事例をわかりやすく説明された。特に、石川県における地場製品の地域団体商標やGI（地理的表示）を活用した成功事例をわかり易く説明された。受講者も、高知県における地場製品等をヒット商品につなげるために商標権やGI（地理的表示）等の知的財産権の重要性を理解していただけたと思う。
また、セミナー終了後には多くの方からお声を頂き、大変盛況のもと終えることができた。



巡回特許庁 in 九州

<併催イベント「知財広め隊セミナー」>

あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方

【開催日】平成30年8月22日（水）【場 所】ホテルグランデはがくれ

プログラム

- 14:30 講演「あなたの会社やお店に眠る知的財産の見つけ方」
講師：本郷 伸介 氏（日本弁理士会九州支部 幹事）
- 15:00 ワークショップ
「弁理士と一緒に知財の見つけ方をケーススタディに沿って考えてみましょう」
- 15:30 閉会

参加者

42名（日本弁理士会集計）

イベントの様子

セミナーでは、知的財産権の基本について、実例を交えて平易に解説を行った。

知的財産権についてセミナー参加者の方々に身近に感じてもらうとともに、知的財産権とビジネスとの深い関連性について理解を深めていただいた。参加者の皆さんはメモを取るなど熱心に聴講されていた。

ワークショップでは、知的財産権の活用と保護について、意見交換を行うとともに、参加者の方々が直面している知的財産権に関する疑問や問題に対して弁理士よりアドバイスを行った。また、参加者である企業の方と佐賀県担当者が情報交換を行う橋渡しの場としても活用いただいた。

いずれのグループも終了時刻をむかえても話が尽きず、盛況のうちにセミナーは終了した。



巡回特許庁
in
那覇

<併催イベント「知財広め隊セミナー」>

商標のトリセツ～あなたもやってみよう！ブランド作り～

【開催日】平成31年1月30日（水）【場 所】沖縄産業支援センター

- プログラム**
- 16:00 講演「商標のトリセツ～あなたもやってみよう！ブランド作り～」
講師：本堂 裕司 氏（日本弁理士会九州支部 幹事）
 - 16:30 ワークショップ
 - 17:00 閉会

参加者 20名（日本弁理士会集計）

イベントの様子 商標法の基本的知識を解説するとともに、座談会による応用体験を通じて参加者の理解が深まったと思われる。テーマは、沖縄特産の商品についてその商品名（商標）を考えること、及び考えた商品名についてどのようにプロモーションしたらよいかというものであった。

セッション終了後も会場では、弁理士のみならず参加者同士の会話も弾み、盛況のうちに終了した。



ご案内

日本弁理士会では、弁理士や知的財産に関する総合的な情報提供を行っています。
日本弁理士会へのご要望やご相談がありましたら、本部又はお近くの支部へご連絡ください。

本部

TEL. 03-3581-1211 URL: <http://www.jpaa.or.jp/>

業務時間：月～金曜日 9:00～17:00

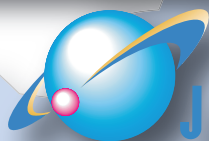
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-4-2 弁理士会館

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-6 東京倶楽部ビルディング 14 階

| | | |
|-----|---|---|
| 北海道 | TEL. 011-736-9331 URL: http://jpaa-hokkaido.jp/ | 〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 4-1-2 KDX 札幌ビル 3 階 |
| 東北 | TEL. 022-215-5477 URL: http://www.jpaa-tohoku.jp/ | 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 3-4-18 太陽生命仙台北町ビル 5 階 |
| 北陸 | TEL. 076-266-0617 URL: http://www.jpaa-hokuriku.jp/ | 〒920-8203 石川県金沢市鞍月 2-2 石川県繊維会館 2 階 |
| 関東 | TEL. 03-3519-2707 URL: https://www.jpaa-kanto.jp/ | 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-4-2 弁理士会館 |
| 東海 | TEL. 052-211-3110 URL: http://www.jpaa-tokai.jp/ | 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 2-10-19 名古屋商工会議所ビル 8 階 |

※ 支部は、2019. 4. 1 に名称を〇〇支部から〇〇会に変更いたします。

知財広め隊



日本弁理士会

JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION

青森

| | | |
|----|---|---|
| 近畿 | TEL. 06-6453-8200 URL: http://www.kjpaa.jp/ | 〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-20 明治安田生命大阪梅田ビル 25 階 |
| 中国 | TEL. 082-224-3944 URL: http://www.jpaa-chugoku.jp/ | 〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 15-6 広島ちゅうぎんビル 4 階 |
| 四国 | TEL. 087-822-9310 URL: http://jpaa-shikoku.jp/ | 〒760-0019 香川県高松市サンポート 2-1 高松シンボルタワー・サンポートビジネススクエア 2 階 |
| 九州 | TEL. 092-415-1139 URL: http://www.jpaa-kyusyu.jp/ | 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-1-1 福岡朝日ビル 8 階 |

山 長
静岡 山梨 東京 神奈川 千葉



日本弁理士会
2017-2018 知財広め隊活動報告書

2019 年 3 月 1 日 発行

編集 / 日本弁理士会知財広め隊

発行 / 日本弁理士会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-4-2

TEL 03-3581-1211 FAX 03-3581-9188